

平成18年2月23日

平成17年中の交通事故の発生状況



警察庁交通局



目 次

1	交通事故の発生状況	1
2	死傷者の状況と特徴	5
(1)	年齢層別の状況と特徴	5
(2)	状態別の状況と特徴	9
ア	全般	9
イ	シートベルト着用有無別	11
ウ	チャイルドシート使用有無別	12
(3)	年齢層別・状態別の状況と特徴	13
ア	全般	13
イ	自転車乗用中	14
ウ	歩行中	16
(4)	損傷部位別の状況と特徴	18
3	交通事故の状況と特徴	20
(1)	第1当事者別の状況と特徴	20
(2)	運転者の年齢層別の状況と特徴	22
(3)	事故類型別の状況と特徴	24
ア	全般	24
イ	追突事故	28
ウ	出会い頭衝突	29
エ	正面衝突	30
オ	自転車関連事故	31
(4)	道路種類別の状況と特徴	32
(5)	法令違反別の状況と特徴	33
(6)	飲酒有無別の状況と特徴	36
(7)	危険認知速度別の状況と特徴	37
4	高速道路における交通事故発生状況	38
(1)	交通事故発生状況	38
(2)	過去10年間の交通事故発生状況の推移	38
(3)	月別交通事故発生状況	39
(4)	路線別交通事故発生状況	40
(5)	事故車両別(第1当事者)交通事故発生状況	41
(6)	事故類型別交通事故発生状況	42
(7)	法令違反別交通事故発生状況	43
(8)	昼夜別交通事故発生状況	44
(9)	シートベルト着用有無別死傷者数	46
(10)	車外放出による交通事故発生状況	47
5	都道府県別交通事故発生状況	48

注：単位未満は四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合もある。

1 交通事故の発生状況

		構成率	前年比	指数
発生件数	93万3,828件	100.0%	-1万8,363件、-1.9%	1.23倍
死亡事故	6,625件	0.7%	-459件、-6.5%	0.65倍
重傷事故	6万5,613件	7.0%	-3,387件、-4.9%	0.89倍
軽傷事故	86万1,590件	92.3%	-1万4,517件、-1.7%	1.27倍
死傷者数	116万3,504人	100.0%	-2万6,974人、-2.3%	1.25倍
死者数	6,871人	0.6%	-487人、-6.6%	0.64倍
負傷者数	115万6,633人	99.4%	-2万6,487人、-2.2%	1.25倍
重傷者	6万8,950人	5.9%	-3,827人、-5.3%	0.87倍
軽傷者	108万7,683人	93.5%	-2万2,660人、-2.0%	1.29倍

【参考】

		構成率	前年比	比率
30日以内死者数	7,931人	0.7%	-561人、-6.6%	1.15倍

注1 「死者数」とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数をいい、「30日以内死者数」とは、交通事故発生から30日以内に死亡した人数をいう。また、「比率」は、死者数（24時間以内）に対する30日以内死者数の比率、「指数」は、10年前（平成7年）と比較した値である。

2 「重傷」とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）以上の治療を要する場合をいう。

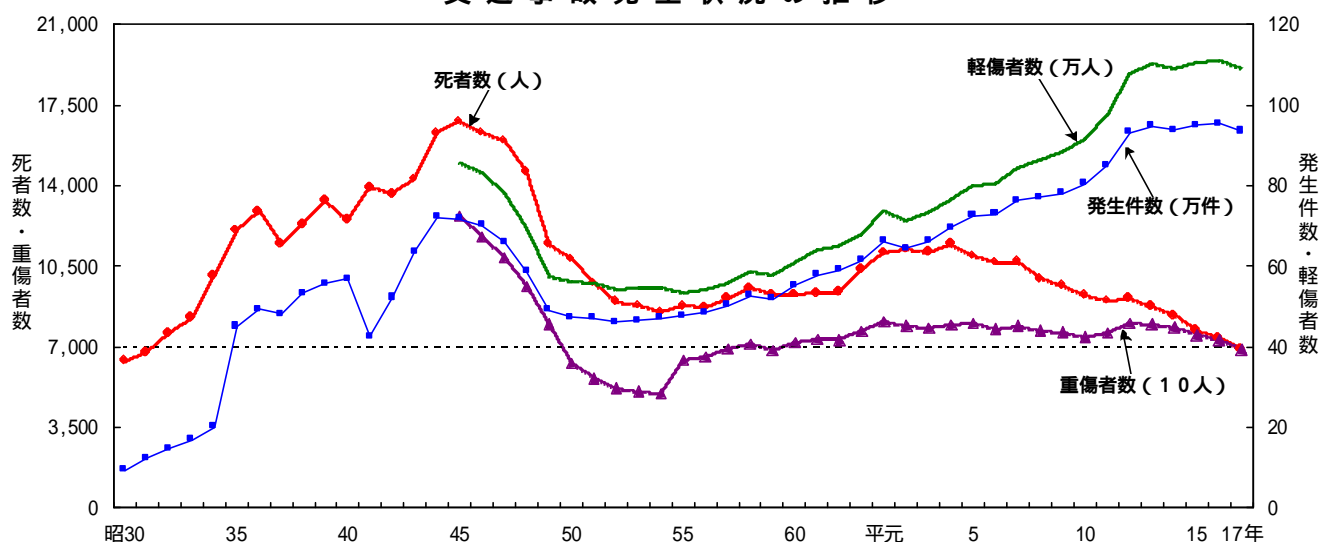
3 「軽傷」とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）未満の治療を要する場合をいう。

平成17年中の交通事故による死者数は6,871人で、5年連続の減少となるとともに、昭和31年以来49年振りに7千人を下回るに至った。また、増加傾向が続き、2年連続で過去最悪を記録した交通事故発生件数及び負傷者数も、3年振りに減少している。

しかしながら、発生件数は6年連続で90万件を超え、負傷者数は7年連続で100万人を超えるなど、依然として憂慮すべき交通情勢にある。

過去10年間の死傷者数の推移を被害程度別にみると、死者及び重傷者は減少傾向にある一方で、全体の9割以上（構成率93.5%）を占める軽傷者は年々増加している状況にある。

交通事故発生状況の推移



注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

交通事故発生状況の推移（昭和21年～平成17年）

	発生件数		死者数		負傷者数		重傷者数		致死率		重傷者率	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	(人)	指数	(%)	指数	(%)	指数
昭和 21年	12,504	...	4,409	26	12,655	25.84
22	17,778	...	4,565	27	16,852	21.31
23	21,341	...	3,848	23	17,609	17.93
24	25,113	...	3,790	23	20,242	15.77
25	33,212	...	4,202	25	25,450	14.17
26	41,423	...	4,429	26	31,274	12.41
27	58,487	...	4,696	28	43,321	9.78
28	80,019	...	5,544	33	59,280	8.55
29	93,869	...	6,374	38	72,390	8.09
30	93,981	...	6,379	38	76,501	7.70
31	122,691	...	6,751	40	102,072	6.20
32	146,833	...	7,575	45	124,530	5.73
33	168,799	...	8,248	49	145,432	5.37
34	201,292	...	10,079	60	175,951	5.42
35	449,917	...	12,055	72	289,156	29	4.00	238
36	493,693	...	12,865	77	308,697	31	4.00	238
37	479,825	...	11,445	68	313,813	32	3.52	209
38	531,966	...	12,301	73	359,089	37	3.31	197
39	557,183	...	13,318	79	401,117	41	3.21	191
40	567,286	...	12,484	74	425,666	43	2.85	170
41	425,944	59	13,904	83	517,775	53	2.62	156
42	521,481	73	13,618	81	655,377	67	2.04	121
43	635,056	88	14,256	85	828,071	84	1.69	101
44	720,880	100	16,257	97	967,000	99	1.65	98
45	718,080	100	16,765	100	981,096	100	126,715	100	1.68	100	12.92	100
46	700,290	98	16,278	97	949,689	97	117,667	93	1.69	100	12.39	96
47	659,283	92	15,918	95	889,198	91	108,482	86	1.76	105	12.20	94
48	586,713	82	14,574	87	789,948	81	96,138	76	1.81	108	12.17	94
49	490,452	68	11,432	68	651,420	66	79,871	63	1.72	103	12.26	95
50	472,938	66	10,792	64	622,467	63	62,744	50	1.70	101	10.08	78
51	471,041	66	9,734	58	613,957	63	56,439	45	1.56	93	9.19	71
52	460,649	64	8,945	53	593,211	60	51,904	41	1.49	88	8.75	68
53	464,037	65	8,783	52	594,116	61	50,642	40	1.46	87	8.52	66
54	471,573	66	8,466	50	596,282	61	49,490	39	1.40	83	8.30	64
55	476,677	66	8,760	52	598,719	61	64,115	51	1.44	86	10.71	83
56	485,578	68	8,719	52	607,346	62	65,595	52	1.42	84	10.80	84
57	502,261	70	9,073	54	626,192	64	69,002	54	1.43	85	11.02	85
58	526,362	73	9,520	57	654,822	67	71,117	56	1.43	85	10.86	84
59	518,642	72	9,262	55	644,321	66	68,388	54	1.42	84	10.61	82
60	552,788	77	9,261	55	681,346	69	71,851	57	1.34	80	10.55	82
61	579,190	81	9,317	56	712,330	73	73,266	58	1.29	77	10.29	80
62	590,723	82	9,347	56	722,179	74	72,867	58	1.28	76	10.09	78
63	614,481	86	10,344	62	752,845	77	76,692	61	1.36	81	10.19	79
平成 元年	661,363	92	11,086	66	814,832	83	80,948	64	1.34	80	9.93	77
2	643,097	90	11,227	67	790,295	81	79,126	62	1.40	83	10.01	78
3	662,388	92	11,105	66	810,245	83	77,977	62	1.35	80	9.62	75
4	695,345	97	11,451	68	844,003	86	79,535	63	1.34	80	9.42	73
5	724,675	101	10,942	65	878,633	90	80,109	63	1.23	73	9.12	71
6	729,457	102	10,649	64	881,723	90	77,674	61	1.19	71	8.81	68
7	761,789	106	10,679	64	922,677	94	78,952	62	1.14	68	8.56	66
8	771,084	107	9,942	59	942,203	96	77,053	61	1.04	62	8.18	63
9	780,399	109	9,640	58	958,925	98	76,281	60	1.00	59	7.95	62
10	803,878	112	9,211	55	990,675	101	74,247	59	0.92	55	7.49	58
11	850,363	118	9,006	54	1,050,397	107	75,894	60	0.85	51	7.23	56
12	931,934	130	9,066	54	1,155,697	118	80,104	63	0.78	46	6.93	54
13	947,169	132	8,747	52	1,180,955	120	79,673	63	0.74	44	6.75	52
14	936,721	130	8,326	50	1,167,855	119	78,278	62	0.71	42	6.70	52
15	947,993	132	7,702	46	1,181,431	120	75,086	59	0.65	39	6.36	49
16	952,191	133	7,358	44	1,183,120	121	72,777	57	0.62	37	6.15	48
17	933,828	130	6,871	41	1,156,633	118	68,950	54	0.59	35	5.96	46

注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は昭和45年を100とした値である。

5 致死率 = 死者数 ÷ (死者数 + 負傷者数) × 100

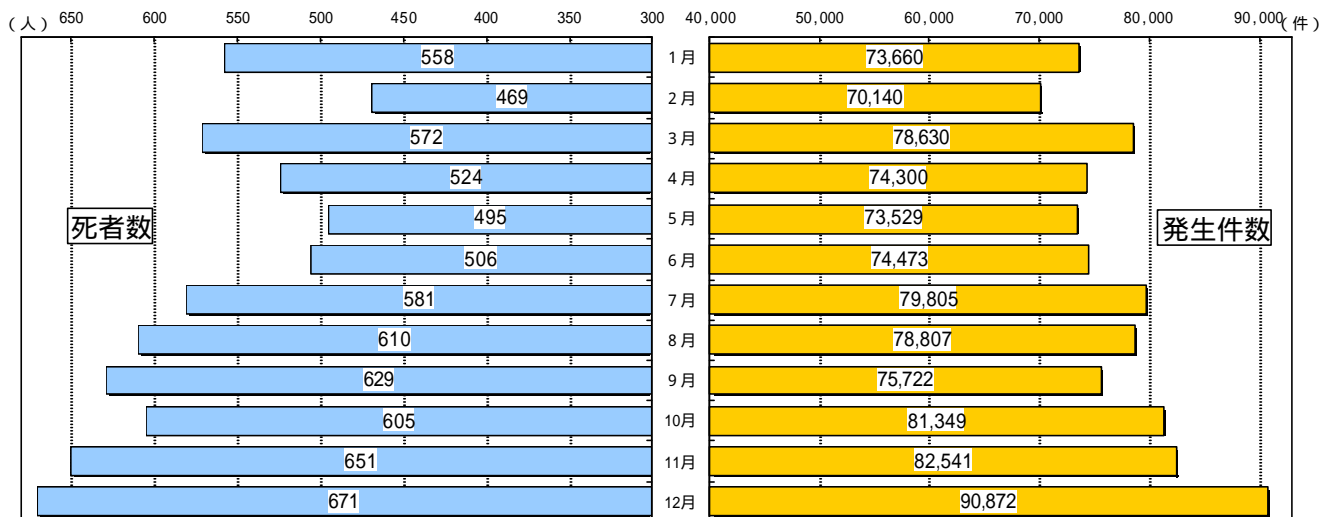
6 重傷者率 = 重傷者数 ÷ 負傷者数 × 100

交通事故発生状況の月別推移

交通事故発生状況を月別にみると、死者数、発生件数及び負傷者数は、例年と同様、いずれも年の後半に多くなる傾向にあり、ピークは12月となっている。

前年と比較すると、特に、下半期に比べて、上半期の減少が顕著である。

死者数及び発生件数の月別推移（平成17年中）



交通事故発生状況の月別推移

区分 月	発生件数				死者数				負傷者数				重傷者数			
	発生件数	1日平均	増減数	増減率	死者数	1日平均	増減数	増減率	負傷者数	1日平均	増減数	増減率	重傷者数	1日平均	増減数	増減率
1月	73,660	2,376	911	1.3	558	18.0	2	0.4	92,190	2,974	1,491	1.6	5,441	176	-22	-0.4
2月	70,140	2,505	-1,705	-2.4	469	16.8	-40	-7.9	85,977	3,071	-3,175	-3.6	4,815	172	-603	-11.1
3月	78,630	2,536	-1,474	-1.8	572	18.5	-45	-7.3	97,541	3,146	-2,086	-2.1	5,367	173	-424	-7.3
4月	74,300	2,477	-3,198	-4.1	524	17.5	-80	-13.2	91,615	3,054	-4,172	-4.4	5,503	183	-485	-8.1
5月	73,529	2,372	-2,327	-3.1	495	16.0	-87	-14.9	91,356	2,947	-3,802	-4.0	5,522	178	-247	-4.3
6月	74,473	2,482	-4,659	-5.9	506	16.9	-53	-9.5	91,233	3,041	-6,221	-6.4	5,407	180	-620	-10.3
7月	79,805	2,574	-5,695	-6.7	581	18.7	-50	-7.9	99,774	3,219	-6,802	-6.4	5,701	184	-674	-10.6
8月	78,807	2,542	1,447	1.9	610	19.7	-12	-1.9	100,629	3,246	1,181	1.2	6,090	196	48	0.8
9月	75,722	2,524	-1,061	-1.4	629	21.0	49	8.4	93,518	3,117	-1,437	-1.5	5,769	192	-78	-1.3
10月	81,349	2,624	-3,598	-4.2	605	19.5	-40	-6.2	100,197	3,232	-5,013	-4.8	6,216	201	-338	-5.2
11月	82,541	2,751	1,384	1.7	651	21.7	-38	-5.5	100,813	3,360	1,709	1.7	6,529	218	133	2.1
12月	90,872	2,931	1,612	1.8	671	21.6	-93	-12.2	111,790	3,606	1,840	1.7	6,590	213	-517	-7.3
合計	933,828	2,558	-18,363	-1.9	6,871	18.8	-487	-6.6	1,156,633	3,169	-26,487	-2.2	68,950	189	-3,827	-5.3

(再掲)

1-6月	444,732	2,457	-12,452	-2.7	3,124	17.3	-303	-8.8	549,912	3,038	-17,965	-3.2	32,055	177	-2,401	-7.0
7-12月	489,096	2,658	-5,911	-1.2	3,747	20.4	-184	-4.7	606,721	3,297	-8,522	-1.4	36,895	201	-1,426	-3.7

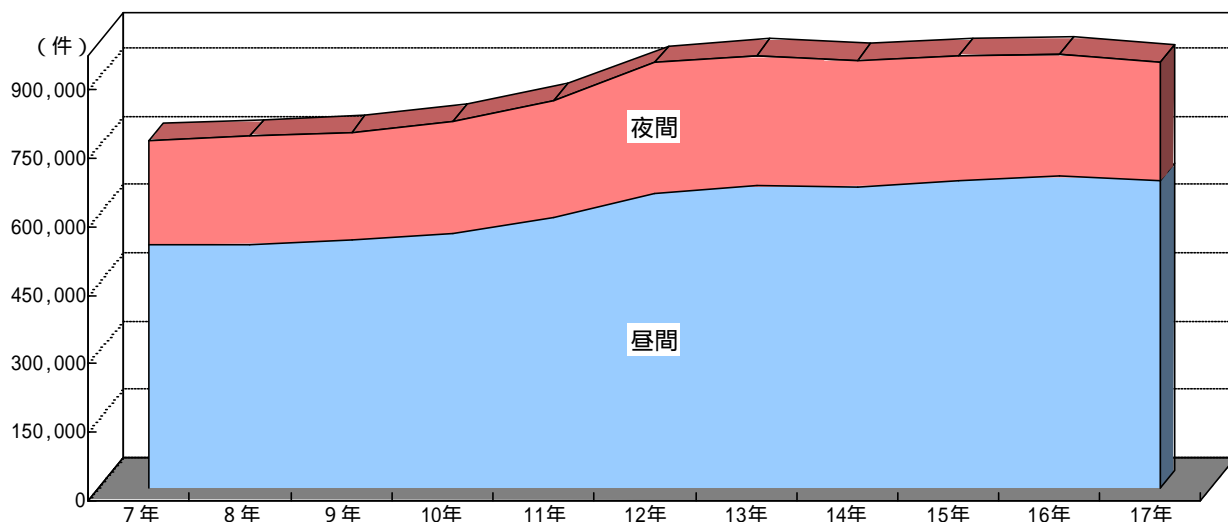
注 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

昼夜別交通事故発生状況の推移

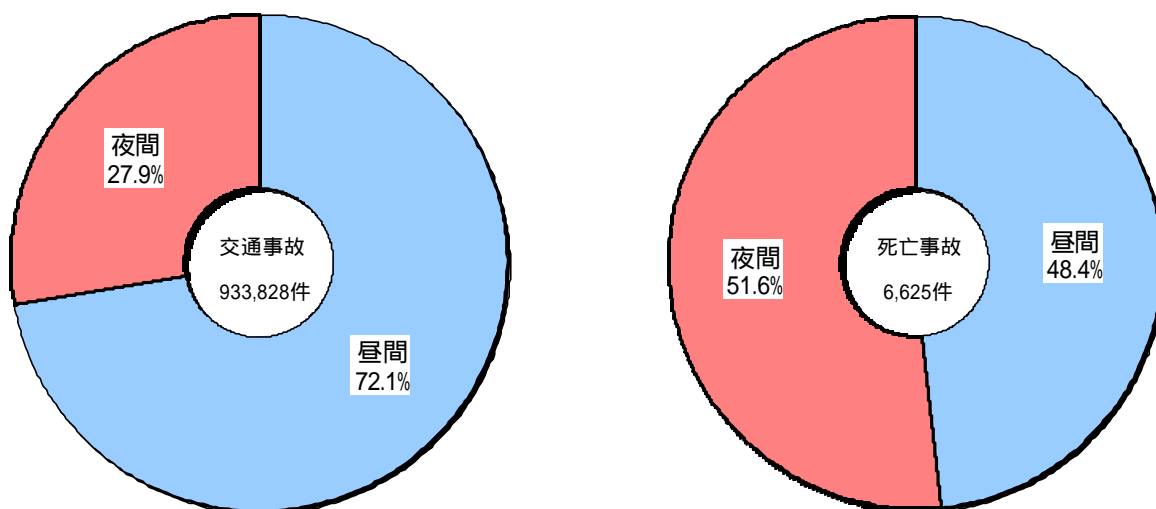
交通事故件数を昼夜別にみると、夜間は、交通事故全体に占める割合が約3割（構成率27.9%）であるのに対して、死亡事故では半数以上（同51.6%）を占めており、死亡事故率（交通事故全体に占める死亡事故の割合）も昼間の2.8倍と高くなっている。

過去10年間の推移をみると、平成13年以降は死亡、重傷及び軽傷事故共に夜間の占める割合が減少傾向にある。

昼夜別交通事故件数の推移（各年12月末）



昼夜別交通事故発生状況（構成率）（平成17年中）



昼夜別・事故内容別交通事故件数の推移（各年12月末）

昼夜別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
昼	死亡	4,563	4,276	4,166	3,936	3,933	3,889	3,892	3,757	3,583	3,391	3,206	-185	-5.5	0.5	70
	重傷	47,487	46,039	45,761	44,727	46,041	48,378	48,853	48,759	47,165	46,254	44,391	-1,863	-4.0	6.6	93
	軽傷	480,339	483,585	492,006	508,928	544,662	594,018	608,945	608,112	621,514	634,845	625,599	-9,246	-1.5	92.9	130
	計	532,389	533,900	541,933	557,591	594,636	646,285	661,690	660,628	672,262	684,490	673,196	-11,294	-1.6	100.0	126
	死亡事故率	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	-	-	-	-
夜	死亡	5,664	5,241	5,054	4,861	4,748	4,818	4,522	4,236	3,873	3,693	3,419	-274	-7.4	1.3	60
	重傷	26,192	25,947	25,699	24,887	25,142	26,969	26,134	25,139	23,858	22,746	21,222	-1,524	-6.7	8.1	81
	軽傷	197,544	205,996	207,713	216,539	225,837	253,862	254,823	246,718	248,000	241,262	235,991	-5,271	-2.2	90.5	119
	計	229,400	237,184	238,466	246,287	255,727	285,649	285,479	276,093	275,731	267,701	260,632	-7,069	-2.6	100.0	114
	死亡事故率	2.5	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	-	-	-	-
夜構成率	死亡	55.4	55.1	54.8	55.3	54.7	55.3	53.7	53.0	51.9	52.1	51.6	-	-	-	93
	重傷	35.5	36.0	36.0	35.7	35.3	35.8	34.9	34.0	33.6	33.0	32.3	-	-	-	91
	軽傷	29.1	29.9	29.7	29.8	29.3	29.9	29.5	28.9	28.5	27.5	27.4	-	-	-	94
	計	30.1	30.8	30.6	30.6	30.1	30.7	30.1	29.5	29.1	28.1	27.9	-	-	-	93

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

注3 死亡事故率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

2 死傷者の状況と特徴

(1) 年齢層別の状況と特徴

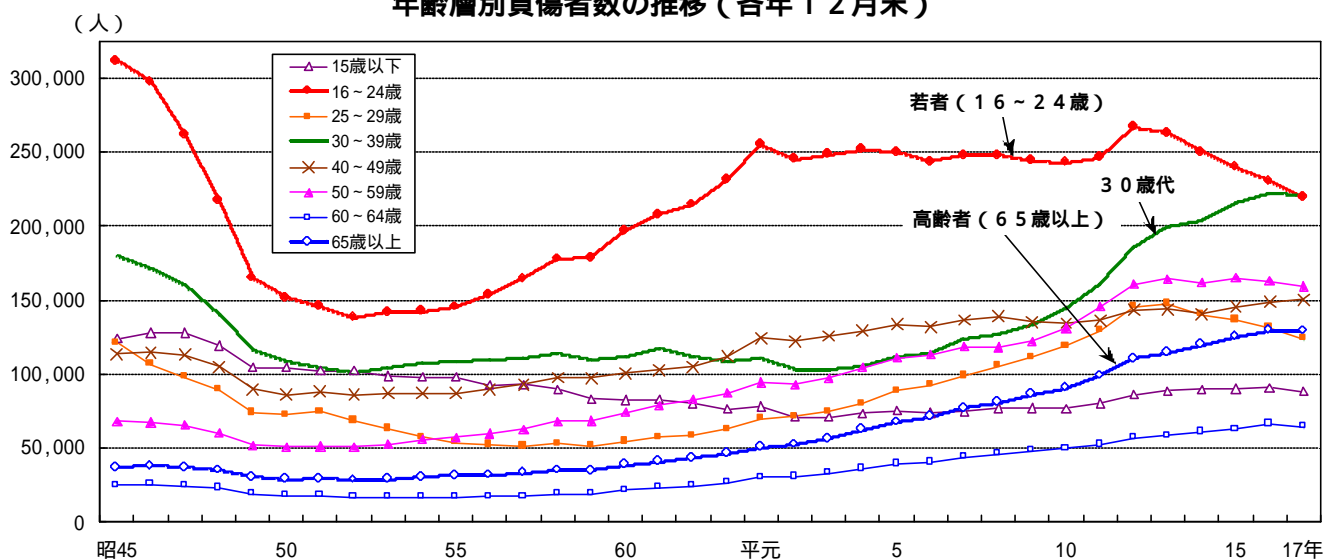
若者の負傷者は大幅に減少、30歳代及び高齢者は増加傾向。

負傷者数を年齢層別にみると、30歳代（構成率19.1%）が最も多く、次いで若者（16～24歳）（同19.0%）、50歳代（同13.8%）、40歳代（同13.0%）の順に多い。

前年と比較すると、特に、若者（前年比-1万1,236人、-4.9%）及び25～29歳（同-7,356人、-5.6%）の減少が顕著であり、一方で、ほとんどの年齢層が減少している中、40歳代が増加（同+1,593人、+1.1%）した。

若者の負傷者数は、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成2年以降はほぼ横ばいで推移した後、13年からは毎年減少している。過去10年間の推移をみると、30歳代（平成7年の1.78倍）及び高齢者（同1.68倍）は増加が顕著であり、17年には30歳代が若者の負傷者数を上回り、最大の年齢層となった。

年齢層別負傷者数の推移（各年12月末）



年齢層別負傷者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下		75,378	77,323	77,280	76,921	80,715	86,101	89,070	89,933	90,493	90,920	88,447	-2,473	-2.7	7.6	117
16～19歳		95,548	94,513	93,353	92,941	94,664	103,949	102,391	97,890	92,514	87,902	83,603	-4,299	-4.9	7.2	87
20～24歳		152,450	153,253	150,877	150,149	151,628	162,779	160,454	152,012	147,411	142,604	135,667	-6,937	-4.9	11.7	89
16～24歳		247,998	247,766	244,230	243,090	246,292	266,728	262,845	249,902	239,925	230,506	219,270	-11,236	-4.9	19.0	88
25～29歳		99,013	105,811	111,678	119,174	129,653	145,901	147,767	140,506	136,755	131,571	124,215	-7,356	-5.6	10.7	125
30～39歳		123,752	126,841	133,404	144,783	160,488	184,930	199,469	203,875	215,458	222,372	220,624	-1,748	-0.8	19.1	178
40～49歳		136,757	139,263	135,368	134,569	136,310	143,335	144,298	140,921	145,717	149,052	150,645	1,593	1.1	13.0	110
50～59歳		118,647	118,263	122,397	131,512	145,648	161,134	164,551	162,060	165,465	163,018	159,602	-3,416	-2.1	13.8	135
60～64歳		44,059	46,152	48,436	49,920	52,358	56,896	58,564	60,923	62,606	66,327	64,564	-1,763	-2.7	5.6	147
65～74歳		52,888	55,641	59,372	62,949	68,770	76,988	79,155	82,350	85,519	87,316	86,968	-348	-0.4	7.5	164
75歳以上		24,185	25,143	26,760	27,757	30,163	33,684	35,236	37,385	39,493	42,038	42,298	260	0.6	3.7	175
65歳以上		77,073	80,784	86,132	90,706	98,933	110,672	114,391	119,735	125,012	129,354	129,266	-88	-0.1	11.2	168
合計		922,677	942,203	958,925	990,675	1,050,397	1,155,697	1,180,955	1,167,855	1,181,431	1,183,120	1,156,633	-26,487	-2.2	100.0	125
(再掲)																
20～29歳		251,463	259,064	262,555	269,323	281,281	308,680	308,221	292,518	284,166	274,175	259,882	-14,293	-5.2	22.5	103
70歳以上		45,455	47,705	51,074	53,499	58,439	65,278	67,498	71,495	75,143	79,359	79,983	624	0.8	6.9	176

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

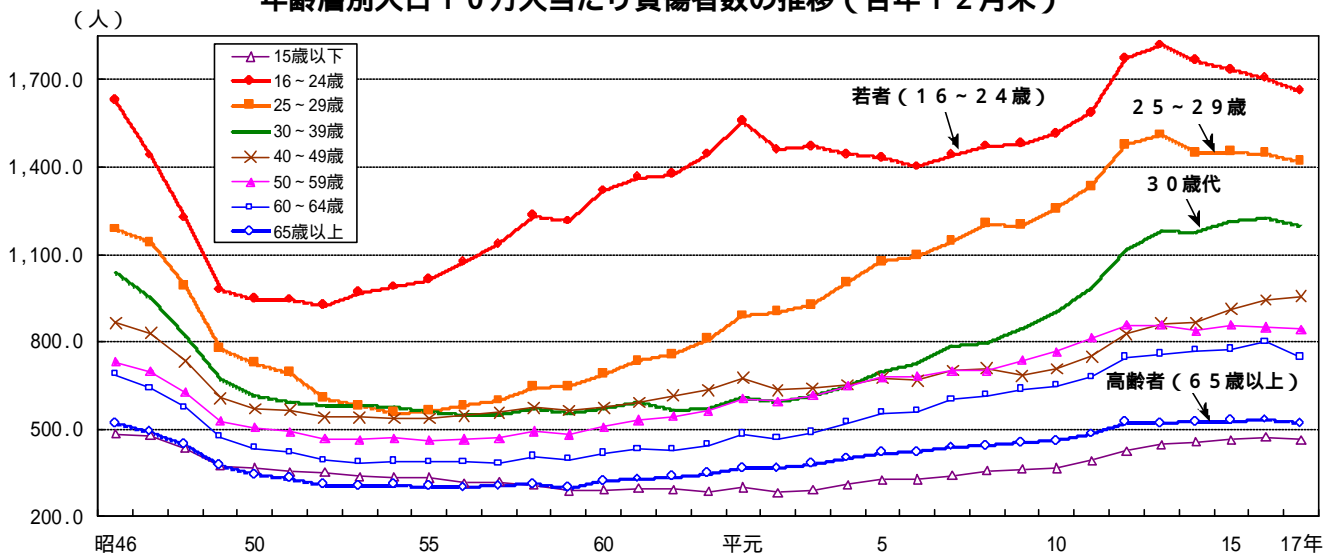
人口10万人当たり負傷者数はほとんどの年齢層で増加又は横ばい傾向。

人口10万人当たり負傷者数を年齢層別にみると、若者（1,658.5人）が最も多く、次いで25～29歳（1,418.6人）、30歳代（1,193.9人）の順に多くなっており、15歳以下を除くと、年齢が高くなるにつれて負傷者数は少なくなる傾向にある。

前年と比較すると、60～64歳（前年比-52.5人、-6.6%）、若者（同-44.0人、-2.6%）が大幅に減少したのを始め、ほとんどの年齢層で減少する中、40歳代が増加（同+11.5人、+1.2%）した。

過去10年間の推移をみると、若者は平成13年（1,816.9人）をピークに減少に転じたのに対して、他の年齢層は増加又は横ばい傾向で推移しており、中でも30歳代の増加（平成7年の1.52倍）が顕著である。

年齢層別人口10万人当たり負傷者数の推移（各年12月末）



年齢層別人口10万人当たり負傷者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	指数	人口(16年推計人口)	
	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年				(千人)	構成率
15歳以下	341.7	357.7	364.2	368.3	392.4	425.5	447.3	457.3	465.1	473.0	465.5	-7.4	-1.6	136	18,999	14.9
16～19歳	1,322.3	1,358.3	1,391.3	1,432.5	1,503.6	1,687.8	1,693.8	1,639.7	1,584.1	1,547.6	1,520.9	-26.7	-1.7	115	5,497	4.3
20～24歳	1,526.6	1,548.8	1,537.5	1,566.8	1,637.6	1,831.0	1,905.4	1,853.4	1,840.1	1,814.5	1,756.4	-58.1	-3.2	115	7,724	6.0
16～24歳	1,440.8	1,470.2	1,478.1	1,512.6	1,583.4	1,772.4	1,816.9	1,763.4	1,732.2	1,702.5	1,658.5	-44.0	-2.6	115	13,221	10.4
25～29歳	1,141.6	1,204.0	1,198.9	1,254.6	1,332.2	1,474.6	1,509.4	1,447.9	1,450.1	1,444.9	1,418.6	-26.3	-1.8	124	8,756	6.9
30～39歳	783.1	795.3	845.6	900.7	982.0	1,114.4	1,180.9	1,175.8	1,213.6	1,224.0	1,193.9	-30.1	-2.5	152	18,480	14.5
40～49歳	702.4	709.7	684.0	708.0	750.4	826.6	863.2	865.4	913.8	944.1	955.7	11.5	1.2	136	15,763	12.3
50～59歳	701.4	700.8	737.1	765.8	813.6	859.2	858.1	837.8	858.9	849.8	842.7	-7.1	-0.8	120	18,940	14.8
60～64歳	602.0	617.4	635.9	648.4	678.9	745.7	757.0	769.3	772.7	798.7	746.2	-52.5	-6.6	124	8,652	6.8
65～74歳	493.4	501.7	514.1	525.8	555.9	606.7	608.6	617.5	629.5	634.5	629.7	-4.8	-0.8	128	13,811	10.8
75歳以上	352.2	350.7	358.4	356.5	370.6	396.4	391.6	392.2	393.2	398.6	382.2	-16.4	-4.1	109	11,067	8.7
65歳以上	438.3	442.4	452.9	459.1	482.4	522.4	519.8	523.6	529.1	532.1	519.6	-12.4	-2.3	119	24,876	19.5
合計	737.9	750.3	761.9	785.2	830.4	912.3	930.4	917.5	927.1	927.1	905.8	-21.2	-2.3	123	127,687	100.0
(再掲)																
20～29歳	1,347.7	1,386.6	1,372.6	1,411.4	1,481.1	1,643.3	1,692.5	1,633.6	1,629.2	1,616.1	1,577.0	-39.2	-2.4	117	16,480	12.9
70歳以上	400.2	402.1	409.9	410.0	428.0	458.6	453.0	458.6	462.3	469.4	456.2	-13.2	-2.8	114	17,533	13.7

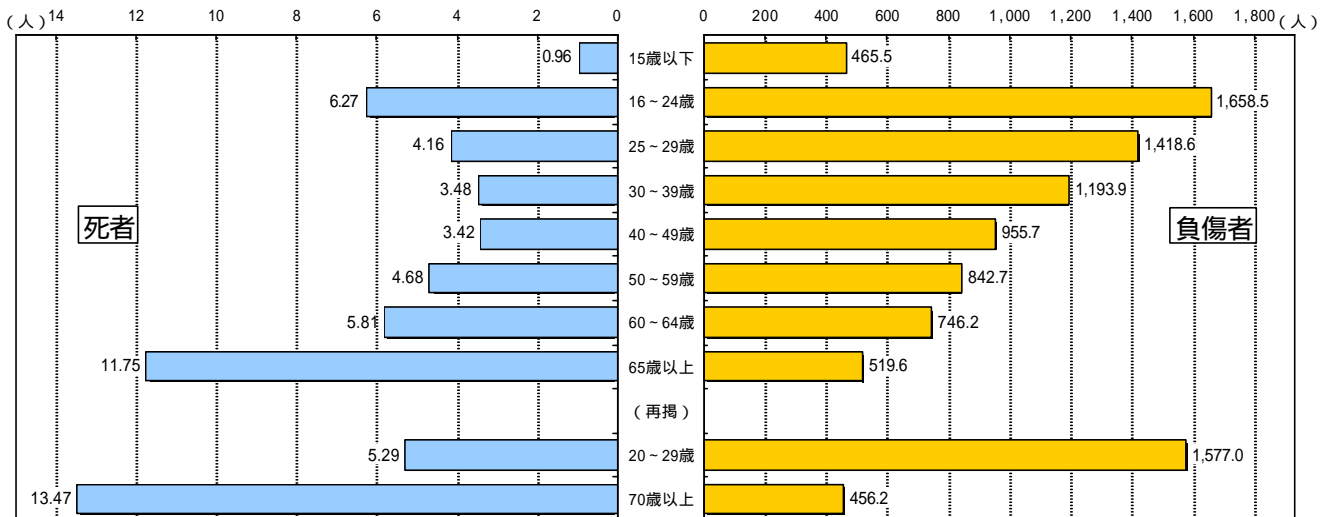
注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。
 2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。
 3 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」による。

高齢者は、致死率が3.7倍、重傷者率が2.4倍、死亡重傷率が2.5倍高い。

人口10万人当たりの死者数及び負傷者数を年齢層別に比較してみると、特に高齢者の場合、負傷者では15歳以下の子供に次いで少ないのに対して、死者では圧倒的に多くなっている。

また、致死率（死傷者に占める死者の割合）、重傷者率（負傷者に占める重傷者の割合）及び死亡重傷率（死傷者に占める死亡・重傷者の割合）を年齢層別にみると、高齢者は全体と比べて、致死率が3.7倍、重傷者率が2.4倍、死亡重傷率が2.5倍と高くなっており、他の年齢層に比べて、事故に遭った場合の被害程度が深刻になる傾向にあることを示している。

年齢層別人口10万人当たり死傷者数（平成17年中）



年齢層別致死率、重傷者率及び死亡重傷率（平成17年中）

年齢層別	死者数	負傷者数	重傷者数	死傷者数	致死率	重傷者率		死亡重傷率						
						平成7年	指数	平成7年	指数					
15歳以下	182	88,447	4,733	88,629	0.21	0.51	41	5.35	9.38	57	5.55	9.84	56	
16～19歳	321	83,603	5,561	83,924	0.38	1.11	35	6.65	10.60	63	7.01	11.59	60	
20～24歳	508	135,667	5,889	136,175	0.37	0.87	43	4.34	6.42	68	4.70	7.24	65	
16～24歳	829	219,270	11,450	220,099	0.38	0.96	39	5.22	8.03	65	5.58	8.92	63	
25～29歳	364	124,215	4,353	124,579	0.29	0.69	42	3.50	5.07	69	3.79	5.72	66	
30～39歳	643	220,624	8,169	221,267	0.29	0.60	49	3.70	5.28	70	3.98	5.84	68	
40～49歳	539	150,645	6,559	151,184	0.36	0.81	44	4.35	6.62	66	4.69	7.38	64	
50～59歳	887	159,602	10,042	160,489	0.55	1.09	51	6.29	9.22	68	6.81	10.20	67	
60～64歳	503	64,564	5,385	65,067	0.77	1.76	44	8.34	12.56	66	9.05	14.09	64	
65～74歳	1,240	86,968	10,372	88,208	1.41	2.87	49	11.93	17.13	70	13.16	19.51	67	
75歳以上	1,684	42,298	7,887	43,982	3.83	6.48	59	18.65	24.07	77	21.76	28.99	75	
65歳以上	2,924	129,266	18,259	132,190	2.21	4.03	55	14.13	19.31	73	16.02	22.56	71	
合計	6,871	1,156,633	68,950	1,163,504	0.59	1.14	52	5.96	8.56	70	6.52	9.60	68	
(再掲)														
20～29歳	872	259,882	10,242	260,754	0.33	0.80	42	3.94	5.89	67	4.26	6.64	64	
70歳以上	2,362	79,983	13,057	82,345	2.87	5.18	55	16.32	21.91	75	18.72	25.95	72	

注1 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

2 致死率 = 死者数 ÷ 死傷者数 × 100

3 重傷者率 = 重傷者数 ÷ 負傷者数 × 100

4 死亡重傷率 = (死者数 + 重傷者数) ÷ 死傷者数 × 100

(2) 状態別の状況と特徴

ア 全般

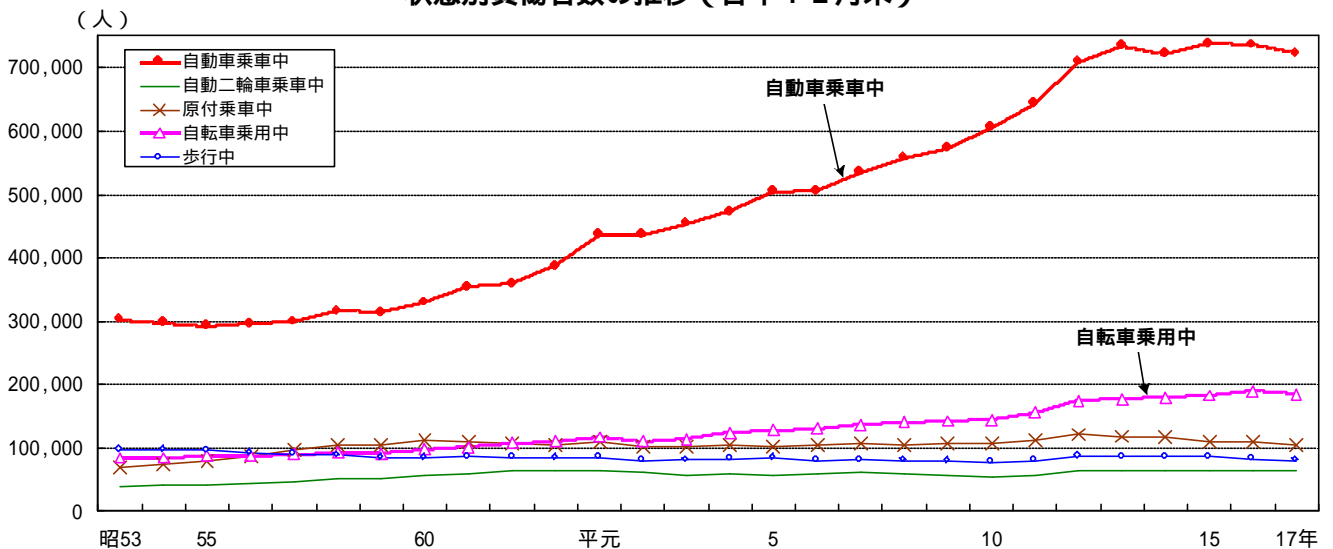
自動車乗車中負傷者が6割以上を占める。自転車乗用中は10年間で1.3倍。

負傷者数を状態別にみると、自動車乗車中が6割以上（構成率62.5%）を占め圧倒的に多く、次いで自転車乗用中（同16.0%）、二輪車乗車中（同14.5%）の順に多い。

前年と比較すると、その他を除く全ての状態で減少しており、特に、自動車乗車中（前年比-1万3,098人、-1.8%）及び二輪車乗車中（同-6,169人、-3.6%）の減少が顕著であるほか、ほぼ一貫して増加傾向にあった自転車乗用中も減少（同-4,706人、-2.5%）に転じた。

自動車乗車中の負傷者数は、昭和50年代後半から増加傾向にあったが、平成13年（73万3,866人）をピークにその後は横ばい傾向で推移している。過去10年間の推移をみると、13年以降は、原付乗車中及び歩行中は減少傾向となり、自動二輪車乗車中はほぼ横ばいで推移しているのに対して、自転車乗用中は増加傾向にあり、10年間で1.3倍（平成7年の1.34倍）になっている。

状態別負傷者数の推移（各年12月末）



状態別負傷者数の推移（各年12月末）

状態別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
自動車乗車中		535,075	556,987	572,971	604,725	643,590	708,645	733,866	721,137	738,278	735,987	722,889	-13,098	-1.8	62.5	135
自動二輪車乗車中		61,136	58,392	56,662	54,762	57,092	62,929	64,281	64,140	62,978	64,582	63,820	-762	-1.2	5.5	104
原付乗車中		107,122	104,924	106,809	108,102	112,016	121,207	118,762	116,491	110,420	108,981	103,574	-5,407	-5.0	9.0	97
二輪車乗車中		168,258	163,316	163,471	162,864	169,108	184,136	183,043	180,631	173,398	173,563	167,394	-6,169	-3.6	14.5	99
自転車乗用中		137,388	140,604	142,599	144,271	156,078	175,179	176,819	179,582	183,233	189,392	184,686	-4,706	-2.5	16.0	134
歩行中		81,068	80,528	79,108	78,000	80,808	86,856	86,263	85,631	85,592	83,271	80,714	-2,557	-3.1	7.0	100
その他		888	768	776	815	813	881	964	874	930	907	950	43	4.7	0.1	107
合計		922,677	942,203	958,925	990,675	1,050,397	1,155,697	1,180,955	1,167,855	1,181,431	1,183,120	1,156,633	-26,487	-2.2	100.0	125
自動車乗車中構成率		58.0	59.1	59.8	61.0	61.3	61.3	62.1	61.7	62.5	62.2	62.5	-	-	-	108
自転車乗用中構成率		14.9	14.9	14.9	14.6	14.9	15.2	15.0	15.4	15.5	16.0	16.0	-	-	-	107

注1 増減数（率）は、平成16年と比較した値である。

2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

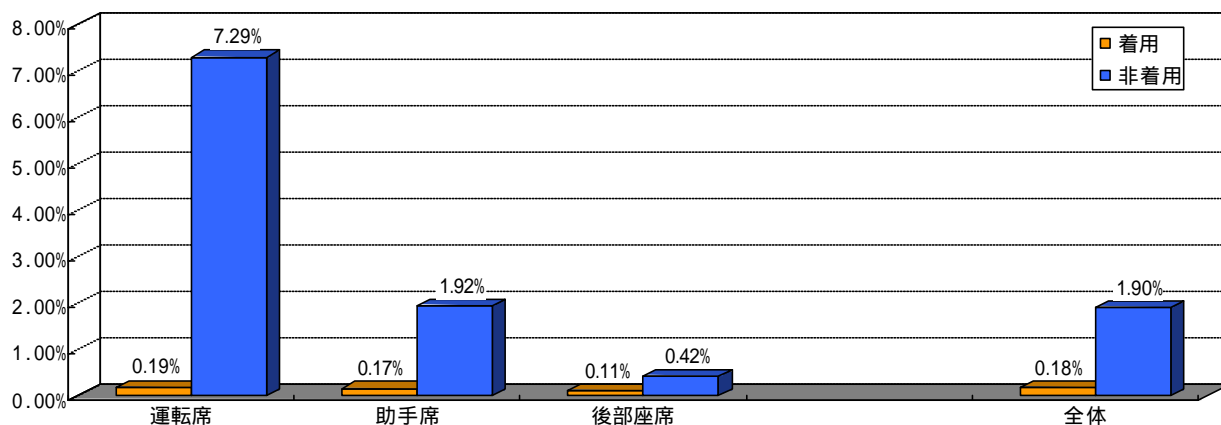
イ シートベルト着用有無別

着用死者の車外放出の割合は非着用者の約9分の1。

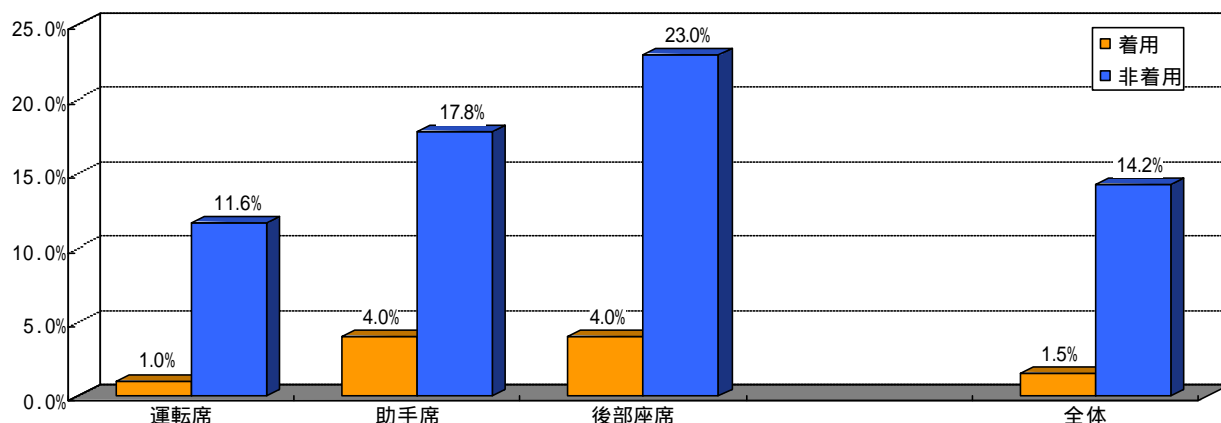
自動車乗車中のシートベルト（チャイルドシートを含む）着用有無別の致死率をみると、非着用者の致死率は着用者の約10倍と高くなっており、これを座席位置別にみると、運転席、助手席及び後部座席は、それぞれ38.5倍、11.6倍、3.9倍となっている。

また、自動車乗車中で車外放出（自動車乗車中の者が車内から車外へ放出された状態）になった場合の致死率は28.14%であり、自動車乗車中全体の致死率（0.38%）の約75倍と高い。自動車乗車中の死者のうち、シートベルト着用者で車外放出になった割合は非着用者の約9分の1であり、シートベルトの着用によって車外放出になる危険性が低くなることを示している。

座席位置別・シートベルト着用有無別致死率（平成17年中）



座席位置別・シートベルト有無別死者の車外放出の割合（平成17年中）



座席位置別・シートベルト着用有無別死傷者数（平成17年中）

着用有無別 座席位置別	死者数					死傷者数						
	着用	致死率	非着用	致死率	不明	計	致死率	着用	着用者率	非着用	不明	計
運転席	976	0.19	1,031	7.29	114	2,121	0.40	514,598	96.6	14,136	3,782	532,516
車外放出	10	5.15	120	46.51	5	135	28.78	194	41.4	258	17	469
車外放出構成率	1.0	-	11.6	-	4.4	6.4	-	0.0	-	1.8	0.4	0.1
助手席	177	0.17	152	1.92	14	343	0.30	106,358	92.3	7,900	917	115,175
車外放出	7	12.96	27	34.62	0	34	25.76	54	40.9	78	0	132
車外放出構成率	4.0	-	17.8	-	0.0	9.9	-	0.1	-	1.0	0.0	0.1
後部座席	25	0.11	213	0.42	6	244	0.32	23,035	30.5	50,285	2,220	75,540
車外放出	1	5.26	49	31.41	1	51	28.49	19	10.6	156	4	179
車外放出構成率	4.0	-	23.0	-	16.7	20.9	-	0.1	-	0.3	0.2	0.2
その他	0	0.00	14	0.72	0	14	0.59	343	14.4	1,940	97	2,380
車外放出	0	0.00	4	26.67	0	4	25.00	1	6.3	15	0	16
車外放出構成率	-	-	28.6	-	-	28.6	-	0.3	-	0.8	0.0	0.7
計	1,178	0.18	1,410	1.90	134	2,722	0.38	644,334	88.8	74,261	7,016	725,611
車外放出	18	6.72	200	39.45	6	224	28.14	268	33.7	507	21	796
車外放出構成率	1.5	-	14.2	-	4.5	8.2	-	0.0	-	0.7	0.3	0.1

注1 致死率 = 死者数 ÷ 死傷者数 × 100

注2 着用者率 = 着用死傷者数 ÷ 死傷者数 × 100

注3 車外放出構成率 = 車外放出死(傷)者数 ÷ 死(傷)者数 × 100

注4 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

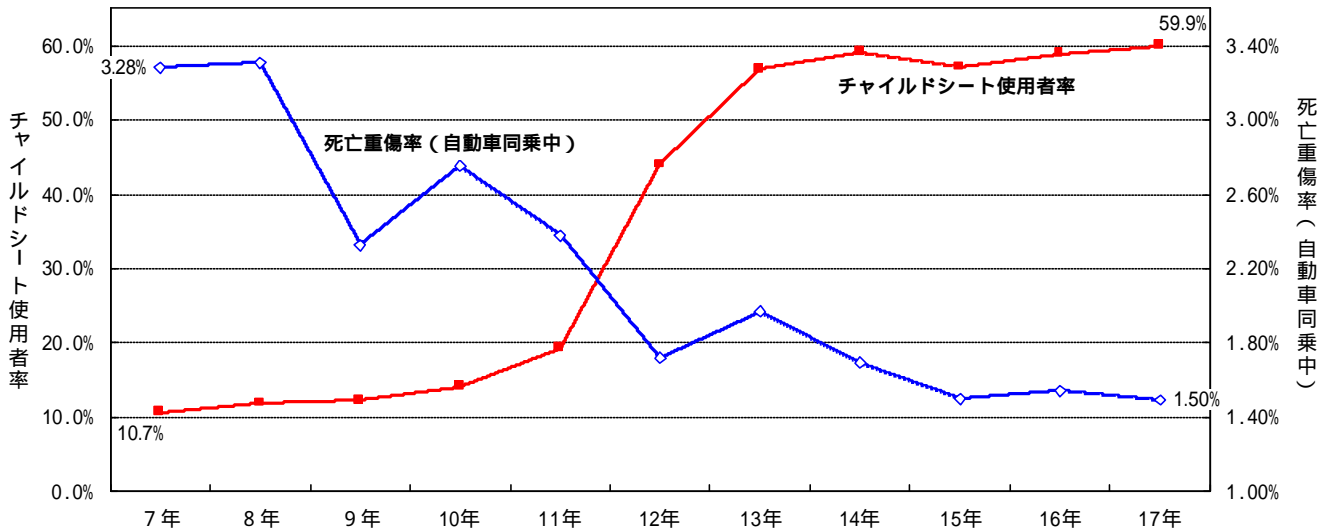
ウ チャイルドシート使用有無別

チャイルドシート使用者率の向上と死亡重傷率の低下。

平成17年中のチャイルドシート使用者率(6歳未満幼児の自動車同乗中死傷者に占める使用の死傷者の割合)は59.9%であり、前年と比較すると、1.0P上昇したものの、14年以降はほぼ横ばいで推移している。

6歳未満幼児の自動車同乗中の死亡重傷率は、10年前の3.28%から1.50%に低下している。この死亡重傷率をチャイルドシート使用有無別にみると、17年の不使用者の死亡重傷率は使用者の約2倍であり、チャイルドシートの使用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。また、使用者を適正・不適正使用別にみると、不適正使用者の死亡重傷率は適正使用者の4.5倍であり、チャイルドシートは適正に使用することにより、被害軽減の効果を発揮することを示している。

チャイルドシート使用者率及び死亡重傷率(自動車同乗中)の推移(各年12月末)



自動車同乗中(6歳未満幼児)のチャイルドシート使用有無別死傷者数の推移(各年12月末)

年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数	
有無別												増減数	増減率	構成率	指数	
	チャイルドシート使用	0	1	3	6	7	5	11	9	8	11	7	-4	-36.4	33.3	-
	チャイルドシート不使用	40	40	30	44	24	20	32	25	30	14	14	-16	-53.3	66.7	35
使用不明	0	0	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	-	0.0	-
合計	40	41	34	52	33	26	44	35	31	41	21	-20	-48.8	100.0	53	
致死率	0.58	0.51	0.39	0.54	0.32	0.23	0.35	0.27	0.23	0.30	0.16	-	-	-	28	
死亡重傷率	3.28	3.31	2.33	2.75	2.38	1.72	1.97	1.69	1.50	1.54	1.50	-	-	-	46	

- 注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。
 2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。
 3 チャイルドシート使用者率=チャイルドシート使用死傷者数(自動車同乗中)÷死傷者数(自動車同乗中)×100
 4 致死率=死者数(自動車同乗中)÷死傷者数(自動車同乗中)×100
 5 死亡重傷率=(死者数+重傷者数)(自動車同乗中)÷死傷者数(自動車同乗中)×100

自動車同乗中(6歳未満幼児)のチャイルドシート使用有無別死亡重傷率(平成17年中)

年	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者数	死亡重傷率	平成16年	
有無別							
	チャイルドシート使用	5	44	6,627	6,676	0.73	0.84
	チャイルドシート不使用	14	91	4,829	4,934	2.13	2.31
使用不明	0	3	285	288	1.04	1.39	
合計	21	174	12,843	13,038	1.50	1.54	

- 注1 「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。
 2 「不適正使用」とは、事故によりチャイルドシートがシートベルトから完全に分離している場合、幼児等がチャイルドシートから飛び出した場合等をいう。
 3 死亡重傷率=(死者数+重傷者数)(自動車同乗中)÷死傷者数(自動車同乗中)×100

イ 自転車乗用中

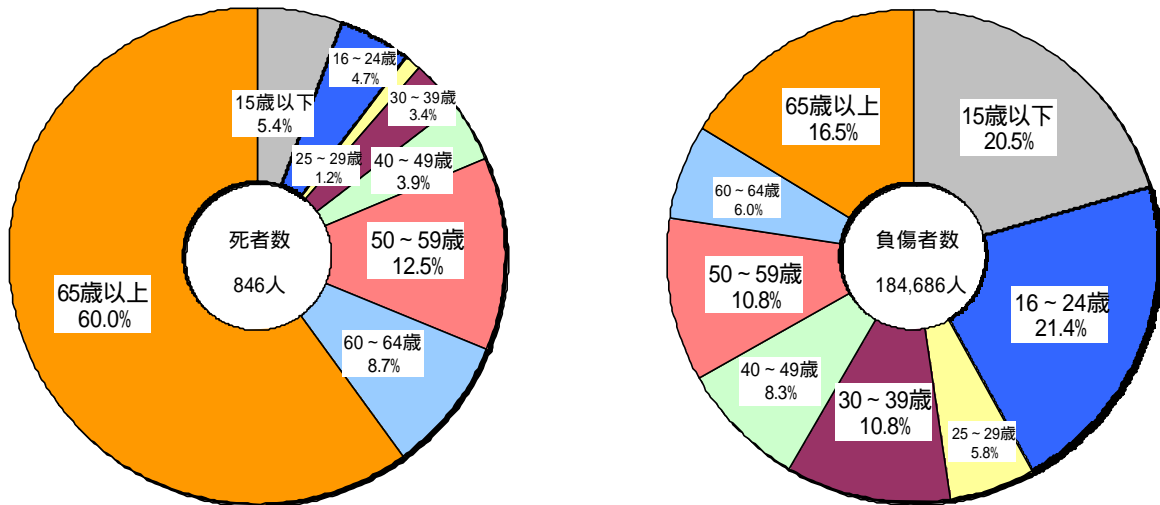
高齢者は死者の6割を占める。6歳未満幼児の同乗中死傷者は頭部損傷の割合が高い。

自転車乗用中の死傷者数を年齢層別にみると、負傷者では、若者（構成率21.4%）が最も多く、次いで15歳以下（同20.5%）、高齢者（同16.5%）の順に多いのに対して、死者では、高齢者が約6割（同60.0%）を占め圧倒的に多い。

過去10年間の推移をみると、全ての年齢層で横ばい又は増加傾向にあり、特に30歳代は10年間で約2倍（平成7年の2.15倍）になっている。

また、6歳未満幼児の自転車同乗中の死傷者数は2,130人で、前年と比較して減少（前年比-294人、-12.1%）したものの、10年間で約2倍（平成7年の1.89倍）に増加している。損傷部位別にみると、他の年齢層の頭部損傷の割合が1~2割程度であるのに対して、自転車同乗中の6歳未満幼児は約4割（構成率43.8%）を占め、圧倒的に高い。

自転車乗用中の年齢層別死傷者数（構成率）（平成17年中）



自転車乗用中の年齢層別死傷者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下		30,848	32,079	31,683	31,594	33,462	36,152	36,747	36,775	37,832	38,927	37,831	-1,096	-2.8	20.4	123
16~19歳		21,575	21,974	21,420	21,042	22,811	26,699	26,481	25,865	25,956	26,060	25,968	-92	-0.4	14.0	120
20~24歳		9,570	9,893	10,274	10,384	11,198	13,135	13,301	13,394	13,691	14,059	13,570	-489	-3.5	7.3	142
16~24歳		31,145	31,867	31,694	31,426	34,009	39,834	39,782	39,259	39,647	40,119	39,538	-581	-1.4	21.3	127
25~29歳		5,852	6,569	7,061	7,766	9,047	10,993	10,843	10,694	10,888	11,189	10,684	-505	-4.5	5.8	183
30~39歳		9,277	9,609	10,220	11,131	12,575	15,284	16,219	17,136	18,565	20,090	19,939	-151	-0.8	10.7	215
40~49歳		14,272	14,371	13,991	13,173	13,499	14,368	14,188	14,357	14,771	15,348	15,404	56	0.4	8.3	108
50~59歳		17,893	17,602	17,877	18,200	19,978	21,757	21,358	21,843	21,305	21,165	20,040	-1,125	-5.3	10.8	112
60~64歳		8,771	8,941	9,415	9,486	9,961	10,866	10,970	11,177	11,302	12,001	11,106	-895	-7.5	6.0	127
65~74歳		13,240	13,357	13,993	14,518	16,014	17,711	18,148	19,129	19,587	20,322	19,994	-328	-1.6	10.8	151
75歳以上		7,211	7,261	7,730	7,965	8,565	9,198	9,556	10,203	10,309	11,090	10,996	-94	-0.8	5.9	152
65歳以上		20,451	20,618	21,723	22,483	24,579	26,909	27,704	29,332	29,896	31,412	30,990	-422	-1.3	16.7	152
計		138,509	141,656	143,664	145,259	157,110	176,163	177,811	180,573	184,206	190,251	185,532	-4,719	-2.5	100.0	134

【再掲】

6歳未満同乗中	1,129	1,251	1,443	1,555	1,782	2,032	2,236	2,313	2,329	2,424	2,130	-294	-12.1	1.1	189
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-----	-----

注1 増減数（率）は、平成16年と比較した値である。

2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

自転車乗用中の年齢層別・損傷部位別死傷者数（平成17年中）

年齢層別	損傷部位別	全損	頭部	顔部	頸部	胸部	腹部	背部	腰部	腕部	脚部	その他	合計
15歳以下		3	6,557	2,715	1,767	1,288	608	234	1,561	6,689	16,406	3	37,831
	構成率	0.0	17.3	7.2	4.7	3.4	1.6	0.6	4.1	17.7	43.4	0.0	100.0
6歳未満同乗中		0	933	264	85	30	14	3	46	226	528	1	2,130
	構成率	0.0	43.8	12.4	4.0	1.4	0.7	0.1	2.2	10.6	24.8	0.0	100.0
16~24歳		3	4,345	2,021	3,194	1,326	336	282	2,992	6,554	18,478	7	39,538
	構成率	0.0	11.0	5.1	8.1	3.4	0.8	0.7	7.6	16.6	46.7	0.0	100.0
25~64歳		15	8,410	3,462	7,207	4,051	562	658	7,782	13,929	31,081	16	77,173
	構成率	0.0	10.9	4.5	9.3	5.2	0.7	0.9	10.1	18.0	40.3	0.0	100.0
65歳以上		26	5,762	1,457	1,656	2,563	249	305	3,505	4,996	10,467	4	30,990
	構成率	0.1	18.6	4.7	5.3	8.3	0.8	1.0	11.3	16.1	33.8	0.0	100.0
計		47	25,074	9,655	13,824	9,228	1,755	1,479	15,840	32,168	76,432	30	185,532
	構成率	0.0	13.5	5.2	7.5	5.0	0.9	0.8	8.5	17.3	41.2	0.0	100.0

注 「全損」とは、損傷が多数あり、致命傷が複数ある場合をいう。

ウ 歩行中

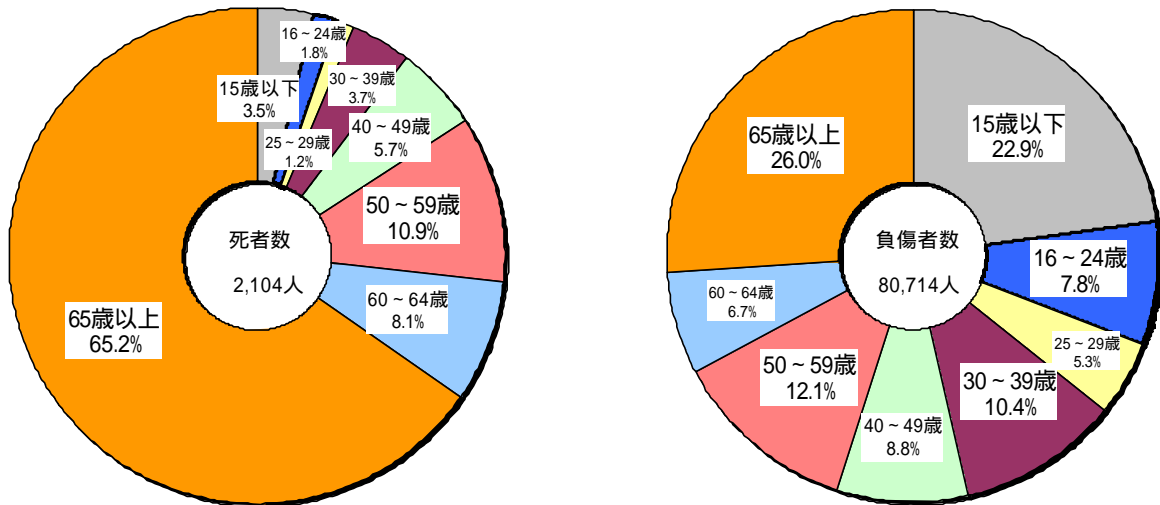
負傷者は高齢者と子供で半数、死者は高齢者が3分の2を占める。子供及び若者の死傷者は減少傾向。

歩行中の死傷者数を年齢層別にみると、負傷者では、高齢者（構成率26.0%）が最も多く、次いで15歳以下の子供（同22.9%）の順となっており、両方で約半数（同48.9%）を占めている。一方、死者では、高齢者が約3分の2に当たる65.2%を占め圧倒的に多い。

前年と比較すると、40歳代を除く全ての年齢層で減少しており、特に、子供（前年比-899人、-4.6%）、高齢者（同-578人、-2.5%）及び若者（同-466人、-6.8%）の減少が顕著である。

過去10年間の推移をみると、子供及び若者は、平成13年以降一貫して減少しているのに対して、30歳代が10年間で1.6倍（平成7年の1.59倍）に増加したほか、25～29歳（同1.29倍）及び高齢者（同1.20倍）が特に増加している。

歩行中の年齢層別死傷者数（構成率）（平成17年中）



歩行中の年齢層別死傷者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年				
15歳以下	26,557	25,132	23,807	22,301	22,478	22,570	22,456	21,814	20,575	19,434	18,535	-899	-4.6	22.4	70
16～19歳	2,556	2,544	2,473	2,440	2,566	2,857	2,790	2,755	2,713	2,502	2,345	-157	-6.3	2.8	92
20～24歳	4,116	4,161	4,079	4,197	4,229	4,990	4,783	4,521	4,389	4,321	4,012	-309	-7.2	4.8	97
16～24歳	6,672	6,705	6,552	6,637	6,795	7,847	7,573	7,276	7,102	6,823	6,357	-466	-6.8	7.7	95
25～29歳	3,309	3,652	3,757	3,959	4,207	4,846	5,013	4,767	4,807	4,479	4,266	-213	-4.8	5.2	129
30～39歳	5,303	5,370	5,455	5,808	6,400	7,473	7,963	8,351	8,595	8,794	8,448	-346	-3.9	10.2	159
40～49歳	7,799	7,903	7,459	7,007	6,912	7,083	6,900	6,913	7,116	7,180	7,215	35	0.5	8.7	93
50～59歳	10,241	9,943	9,782	9,985	10,461	11,524	11,165	10,838	11,000	10,197	10,025	-172	-1.7	12.1	98
60～64歳	5,528	5,632	5,526	5,297	5,563	5,779	5,635	5,788	5,794	5,669	5,605	-64	-1.1	6.8	101
65～74歳	9,690	9,834	10,113	10,252	10,794	11,879	11,620	11,740	12,018	11,882	11,537	-345	-2.9	13.9	119
75歳以上	8,956	9,151	9,300	9,359	9,769	10,395	10,394	10,528	10,917	11,063	10,830	-233	-2.1	13.1	121
65歳以上	18,646	18,985	19,413	19,611	20,563	22,274	22,014	22,268	22,935	22,945	22,367	-578	-2.5	27.0	120
計	84,055	83,322	81,751	80,605	83,379	89,396	88,719	88,015	87,924	85,521	82,818	-2,703	-3.2	100.0	99

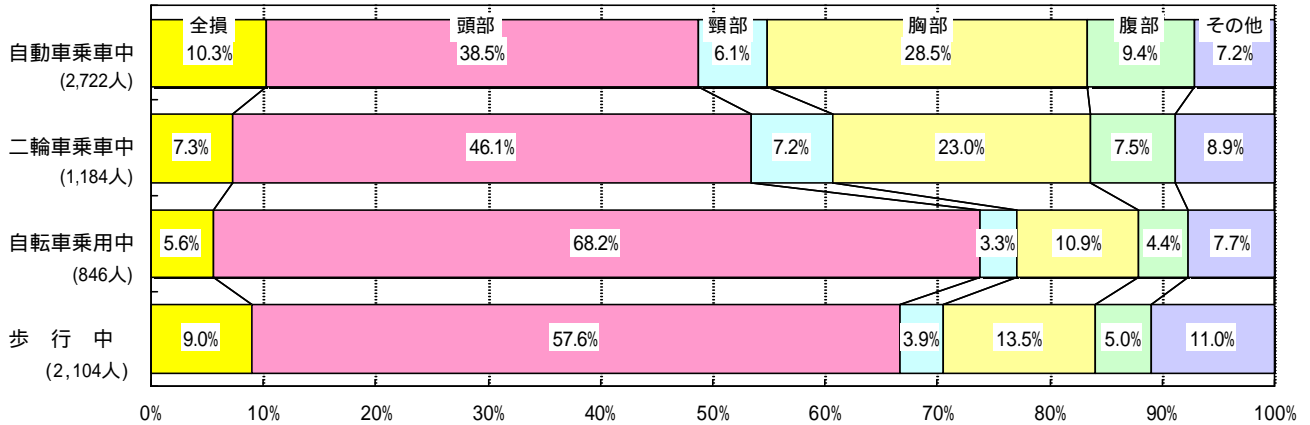
注1 増減数（率）は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

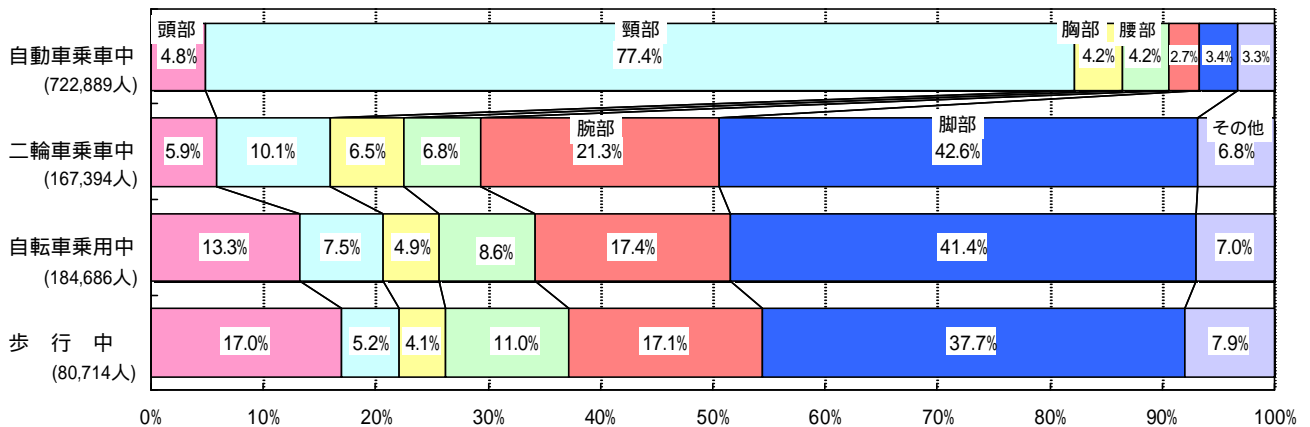
自転車乗用中の死者は頭部損傷の割合が特に高い。

死者数を損傷部位別・状態別にみると、死者では、全ての状態で頭部の割合が高く、中でも自転車乗用中は7割近く（構成率68.2%）を占め、特に高い。一方、負傷者については、自動車乗車中は、頸部が4分の3以上（同77.4%）を占め高くなっているのに対して、二輪車乗車中は腕部及び脚部が約3分の2（同63.9%）を占め、自転車乗用中及び歩行中は腕部及び脚部に加え、頭部の割合も高い。

損傷部位別・状態別死者数（構成率）（平成17年中）



損傷部位別・状態別負傷者数（構成率）（平成17年中）



損傷部位別・状態別死傷者数（平成17年中）

損傷部位別	状態別	自転車乗用中		二輪車乗車中		自動車乗車中		歩行中		その他		合計	
		人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
死者	全損	281	10.3	87	7.3	47	5.6	190	9.0	2	13.3	607	8.8
	頭部	1,047	38.5	546	46.1	577	68.2	1,211	57.6	7	46.7	3,388	49.3
	頸部	35	1.3	17	1.4	7	0.8	21	1.0	0	0.0	80	1.2
	胸部	165	6.1	85	7.2	28	3.3	82	3.9	0	0.0	360	5.2
	腹部	777	28.5	272	23.0	92	10.9	284	13.5	1	6.7	1,426	20.8
	背部	256	9.4	89	7.5	37	4.4	106	5.0	3	20.0	491	7.1
	腰部	7	0.3	0	0.0	2	0.2	2	0.1	0	0.0	11	0.2
	腕部	37	1.4	47	4.0	39	4.6	164	7.8	1	6.7	288	4.2
	脚部	7	0.3	4	0.3	3	0.4	4	0.2	0	0.0	18	0.3
	その他	66	2.4	32	2.7	7	0.8	37	1.8	1	6.7	143	2.1
計		44	1.6	5	0.4	7	0.8	3	0.1	0	0.0	59	0.9
		2,722	100.0	1,184	100.0	846	100.0	2,104	100.0	15	100.0	6,871	100.0
負傷者	頭部	34,902	4.8	9,815	5.9	24,497	13.3	13,693	17.0	97	10.2	83,004	7.2
	頸部	14,942	2.1	8,213	4.9	9,648	5.2	4,615	5.7	30	3.2	37,448	3.2
	胸部	559,576	77.4	16,914	10.1	13,796	7.5	4,182	5.2	371	39.1	594,839	51.4
	腹部	30,008	4.2	10,876	6.5	9,136	4.9	3,301	4.1	40	4.2	53,361	4.6
	背部	4,283	0.6	1,602	1.0	1,718	0.9	808	1.0	13	1.4	8,424	0.7
	腰部	4,635	0.6	1,567	0.9	1,477	0.8	979	1.2	12	1.3	8,670	0.7
	腕部	30,112	4.2	11,419	6.8	15,801	8.6	8,876	11.0	114	12.0	66,322	5.7
	脚部	19,849	2.7	35,660	21.3	32,165	17.4	13,814	17.1	94	9.9	101,582	8.8
	その他	24,557	3.4	71,308	42.6	76,425	41.4	30,437	37.7	178	18.7	202,905	17.5
	計		25	0.0	20	0.0	23	0.0	9	0.0	1	0.1	78
		722,889	100.0	167,394	100.0	184,686	100.0	80,714	100.0	950	100.0	1,156,633	100.0

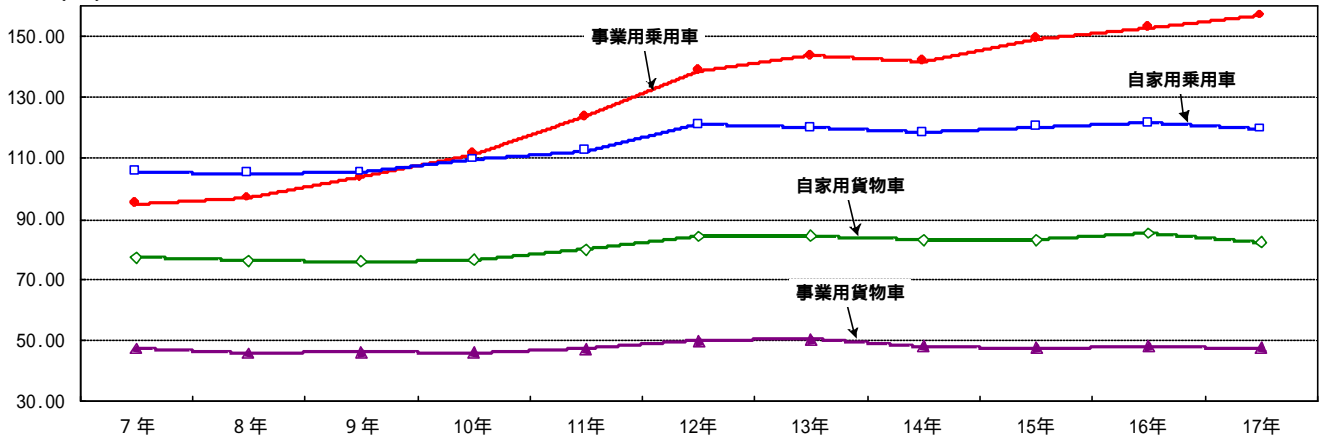
注「全損」とは、損傷が多数あり、致命傷が複数ある場合をいう。

自動車走行キロ当たりの交通事故は乗用車が多いのに対して、 死亡事故では貨物車が多い。

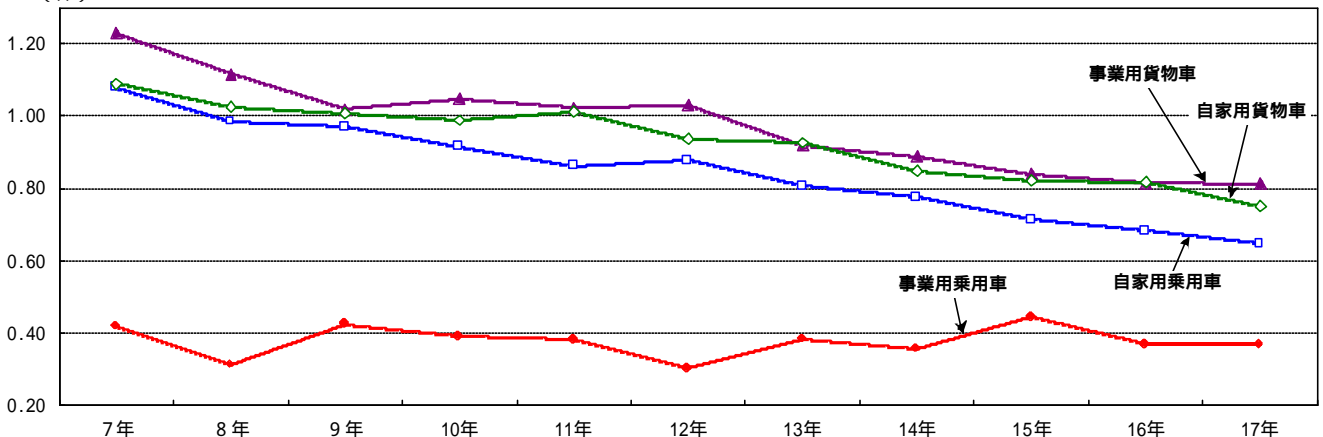
自動車1億走行キロ当たりの交通事故発生状況を車種別にみると、交通事故全体では事業用乗用車(157.10件)が最も多く、次いで自家用乗用車(119.67件)が多いのに対して、死亡事故では事業用貨物車(0.88件)及び自家用貨物車(0.75件)が多い。

過去10年間の推移をみると、死亡事故は各車種で減少傾向にあるのに対して、交通事故全体では平成13年以降、増加又は横ばい傾向で推移している。

車種(第1当事者)別自動車1億走行キロ当たり交通事故件数の推移(各年12月末)



車種(第1当事者)別自動車1億走行キロ当たり死亡事故件数の推移(各年12月末)



第1当事者別自動車1億走行キロ当たりの交通事故件数の推移(各年12月末)

当事者種別		年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	指数	
自動車	交通事故	乗用 事業用	95.10	96.99	103.76	111.33	123.71	138.75	143.81	142.01	149.37	153.13	157.10	3.97	2.6	165	
		乗用 自家用	105.74	105.17	105.48	109.65	112.48	121.06	120.06	118.44	120.42	121.70	119.67	-2.03	-1.7	113	
		貨物 事業用	47.58	45.98	46.30	46.20	47.40	50.22	50.57	48.30	47.84	48.44	47.88	-0.55	-1.1	101	
		貨物 自家用	77.38	76.42	76.34	76.65	80.04	84.36	84.63	83.37	83.21	85.54	82.44	-3.10	-3.6	107	
	計	92.25	91.76	92.42	95.58	98.91	105.95	105.95	104.41	105.65	107.36	105.39	-1.97	-1.8	114		
	死亡事故	乗用 事業用	0.42	0.31	0.42	0.39	0.38	0.30	0.38	0.36	0.44	0.37	0.37	0.37	0.00	0.0	88
		乗用 自家用	1.08	0.98	0.97	0.91	0.86	0.88	0.80	0.78	0.71	0.68	0.65	-0.04	-5.1	60	
		貨物 事業用	1.23	1.11	1.02	1.05	1.02	1.03	0.92	0.89	0.84	0.81	0.81	-0.00	-0.3	66	
		貨物 自家用	1.09	1.03	1.01	0.99	1.01	0.94	0.93	0.85	0.82	0.82	0.75	-0.07	-8.3	69	
		計	1.12	1.05	1.01	1.00	1.01	0.96	0.92	0.86	0.83	0.82	0.77	-0.05	-5.9	69	
計		1.07	0.99	0.97	0.93	0.90	0.89	0.83	0.79	0.74	0.72	0.68	-0.04	-5.3	63		

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

注3 特殊車及びミニカーは除く。

注4 算出に用いた自動車走行キロは、各年度の国土交通省統計資料「自動車輸送統計年報」による。ただし、平成17年は16年度の自動車走行キロによる。

(2) 運転者の年齢層別の状況と特徴

20歳代及び30歳代の運転者による事故が約半数を占める。

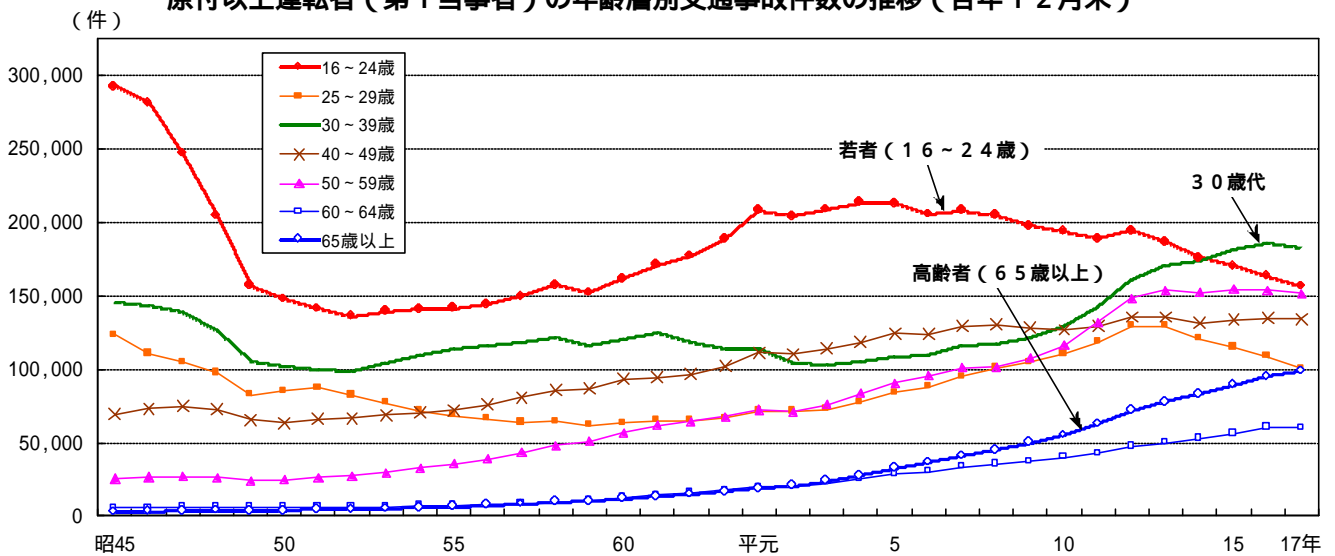
高齢運転者による事故は10年間で2.4倍。

原付以上運転者（第1当事者）による交通事故件数を年齢層別にみると、30歳代（構成率20.6%）が最も多く、次いで若者（同17.7%）、50歳代（同17.2%）の順に多くっており、20歳代及び30歳代の運転者による事故が半数近く（同45.1%）を占めている。

前年と比較すると、25～29歳（前年比-8,148件、-7.5%）及び若者（同-6,932件、-4.3%）が特に減少し、高齢者が増加（同+3,752件、+4.0%）した。

若者の運転による交通事故は、昭和50年代半ばから増加傾向にあったが、平成4年（21万3,355件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少しており、15年には30歳代の運転者による事故件数を下回った。一方、高齢運転者による交通事故は、運転免許保有者数が10年間で約2倍に増加したことを背景に、10年間で2.4倍（平成7年の2.41倍）となり、70歳以上に至っては約3倍（同2.94倍）となっている。

原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別交通事故件数の推移（各年12月末）



原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別交通事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	474	469	536	576	528	532	414	394	264	245	219	-26	-10.6	0.0	46
16～19歳	55,984	53,679	52,363	51,595	50,478	52,685	51,583	49,224	46,582	43,966	40,686	-3,280	-7.5	4.6	73
20～24歳	151,461	151,056	144,803	141,896	138,178	141,497	134,624	126,238	123,486	119,063	115,411	-3,652	-3.1	13.1	76
16～24歳	207,445	204,735	197,166	193,491	188,656	194,182	186,207	175,462	170,068	163,029	156,097	-6,932	-4.3	17.7	75
25～29歳	94,637	101,122	104,726	110,585	118,453	129,365	129,076	120,653	114,823	108,700	100,552	-8,148	-7.5	11.4	106
30～39歳	116,217	117,070	120,959	128,534	141,709	160,704	170,350	173,709	181,651	185,646	182,353	-3,293	-1.8	20.6	157
40～49歳	129,617	130,374	128,346	126,963	129,068	135,574	135,587	131,489	133,699	134,755	134,105	-650	-0.5	15.2	103
50～59歳	101,055	101,556	107,595	116,261	131,925	148,472	153,912	152,430	154,460	153,748	151,698	-2,050	-1.3	17.2	150
60～64歳	33,335	35,176	37,424	39,886	42,801	47,489	50,061	52,869	55,879	60,198	59,990	-208	-0.3	6.8	180
65～69歳	21,625	23,019	25,417	27,393	30,486	34,621	36,709	38,454	40,284	41,286	41,922	636	1.5	4.7	194
70～74歳	11,630	13,186	14,734	16,476	19,528	22,083	23,722	25,213	27,037	28,848	29,963	1,115	3.9	3.4	258
75歳以上	7,652	8,481	9,404	10,861	12,658	15,102	17,075	19,380	21,796	24,664	26,665	2,001	8.1	3.0	348
65歳以上	40,907	44,686	49,555	54,730	62,672	71,806	77,506	83,047	89,117	94,798	98,550	3,752	4.0	11.2	241
合計	723,687	735,188	746,307	771,026	815,812	888,124	903,113	890,053	899,961	901,119	883,564	-17,555	-1.9	100.0	122

(再掲)

20～29歳	246,098	252,178	249,529	252,481	256,631	270,862	263,700	246,891	238,309	227,763	215,963	-11,800	-5.2	24.4	88
70歳以上	19,282	21,667	24,138	27,337	32,186	37,185	40,797	44,593	48,833	53,512	56,628	3,116	5.8	6.4	294

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

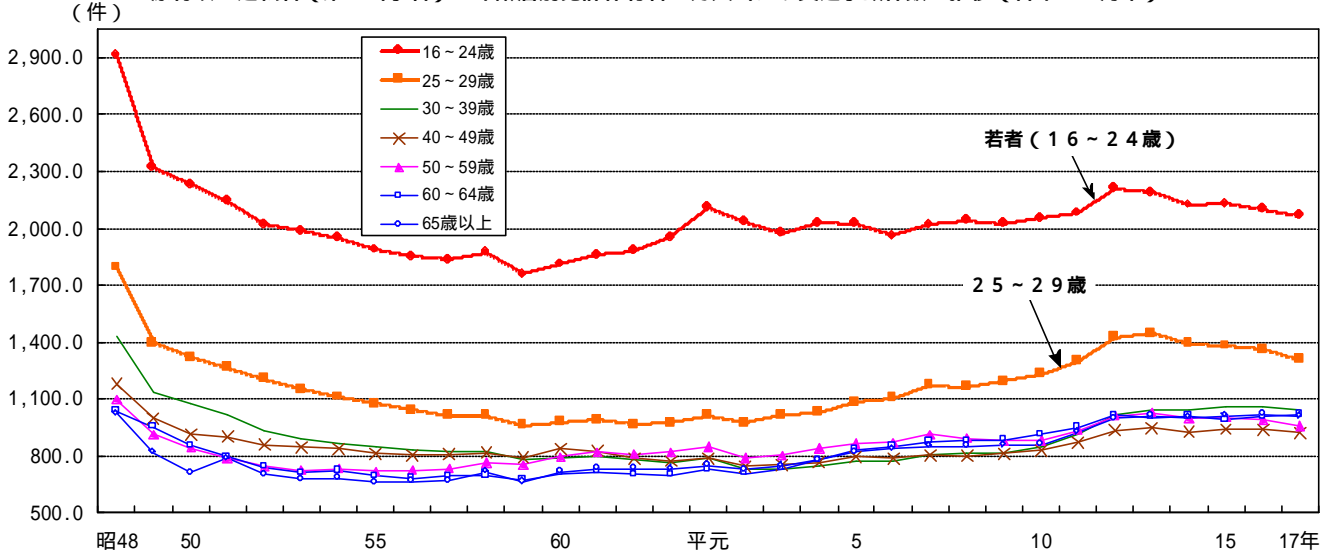
注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

免許保有者10万人当たりでは若者の運転による事故が最多。

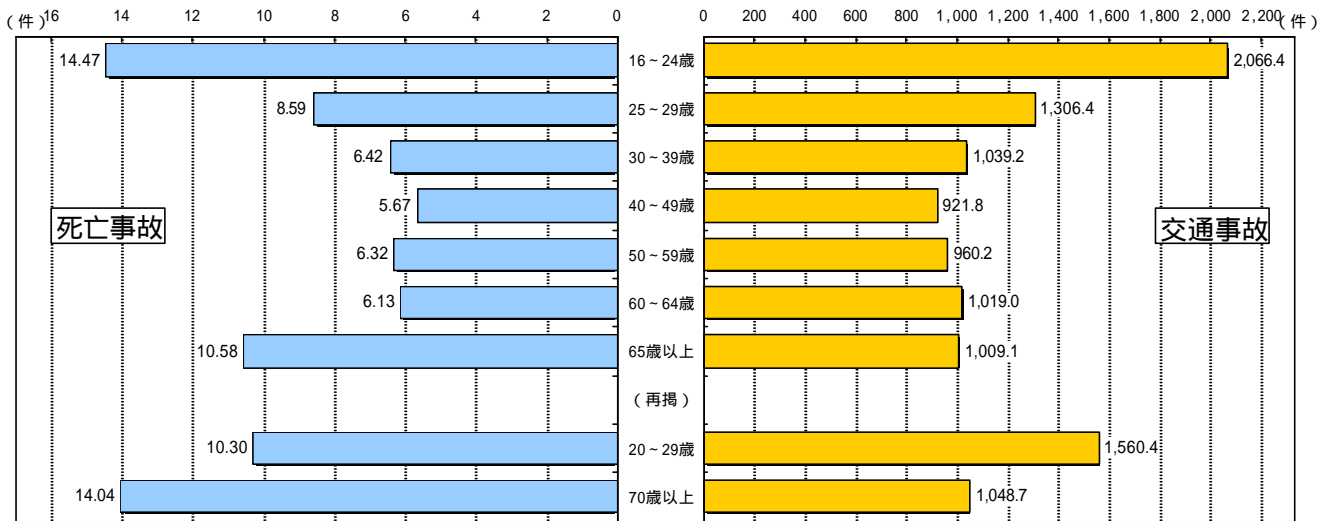
原付以上運転者(第1当事者)による免許保有者10万人当たり交通事故件数を年齢層別にみると、若者(2,066.4件)が最も多く、次いで25~29歳(1,306.4件)、30歳代(1,039.2件)の順に多い。若者の運転による事故は死亡事故でも最多であり、また、高齢運転者の件数は、交通事故全体では30歳以上の他の運転者とは差はないものの、死亡事故では若者に次いで多い。

前年と比較すると、ほとんどの年齢層で減少する中、60~64歳が増加(前年比+12.2件、+1.2%)している。

原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり交通事故件数の推移(各年12月末)



原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり交通事故件数(平成17年中)



原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり交通事故件数の推移(各年12月末)

年齢層別	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	指数
15歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16~19歳	2,816.8	2,812.0	2,808.4	2,789.4	2,812.0	2,983.4	2,985.9	2,942.0	2,957.8	2,959.7	2,884.7	-75.0	-2.5	102
20~24歳	1,826.2	1,858.7	1,836.5	1,870.6	1,900.1	2,013.8	1,984.9	1,916.1	1,926.3	1,897.5	1,878.6	-18.9	-1.0	103
16~24歳	2,017.7	2,040.0	2,022.4	2,050.7	2,080.6	2,208.6	2,188.1	2,123.9	2,129.7	2,100.8	2,066.4	-34.4	-1.6	102
25~29歳	1,170.5	1,165.4	1,191.9	1,231.0	1,300.6	1,425.3	1,447.5	1,393.3	1,379.6	1,361.9	1,306.4	-55.5	-4.1	112
30~39歳	804.3	817.8	817.9	850.7	918.2	1,016.2	1,047.9	1,039.7	1,059.9	1,063.8	1,039.2	-24.6	-2.3	129
40~49歳	805.9	802.6	814.6	829.0	872.3	936.0	949.8	927.7	941.6	940.8	921.8	-19.0	-2.0	114
50~59歳	913.2	894.3	882.6	882.7	935.2	1,013.7	1,029.0	1,000.9	1,003.7	993.2	960.2	-33.0	-3.3	105
60~64歳	875.6	880.2	887.3	914.4	951.7	1,016.6	1,005.3	1,008.5	990.7	1,006.8	1,019.0	12.2	1.2	116
65~69歳	821.1	823.7	842.4	850.8	905.1	977.4	992.3	984.1	993.3	983.6	960.1	-23.5	-2.4	117
70~74歳	861.1	851.0	834.6	815.0	889.2	957.2	982.7	969.4	969.1	989.3	987.5	-1.8	-0.2	115
75歳以上	946.5	936.1	941.9	972.5	1,037.2	1,117.5	1,108.0	1,106.6	1,120.4	1,142.8	1,127.2	-15.6	-1.4	119
65歳以上	853.5	851.2	857.2	860.8	923.7	997.2	1,012.6	1,005.4	1,013.7	1,022.4	1,009.1	-13.4	-1.3	118
合計	1,055.5	1,052.1	1,047.1	1,060.1	1,105.5	1,189.1	1,195.4	1,163.0	1,161.7	1,151.6	1,121.3	-30.3	-2.6	106
(再掲)														
20~29歳	1,502.5	1,500.7	1,496.7	1,523.8	1,566.8	1,682.1	1,679.7	1,619.2	1,617.4	1,597.7	1,560.4	-37.3	-2.3	104
70歳以上	893.1	882.4	873.3	871.0	942.1	1,016.4	1,031.5	1,024.6	1,031.2	1,054.6	1,048.7	-5.9	-0.6	117

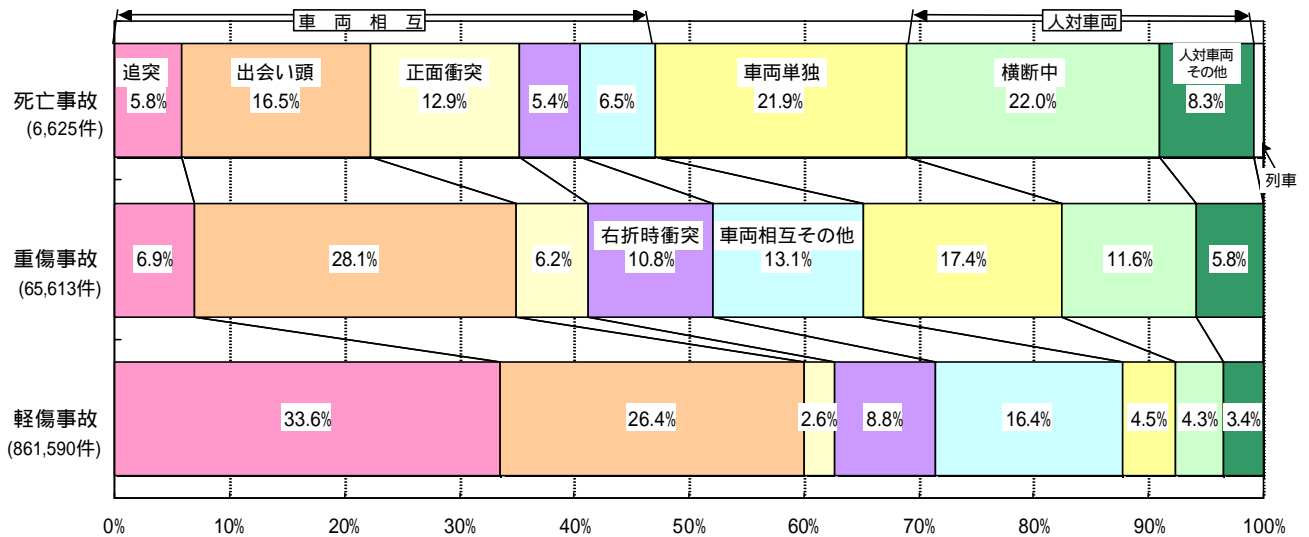
注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。
 2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。
 3 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末現在の値である。

正面衝突、車両単独及び歩行者の横断中事故は死亡事故率が高い。

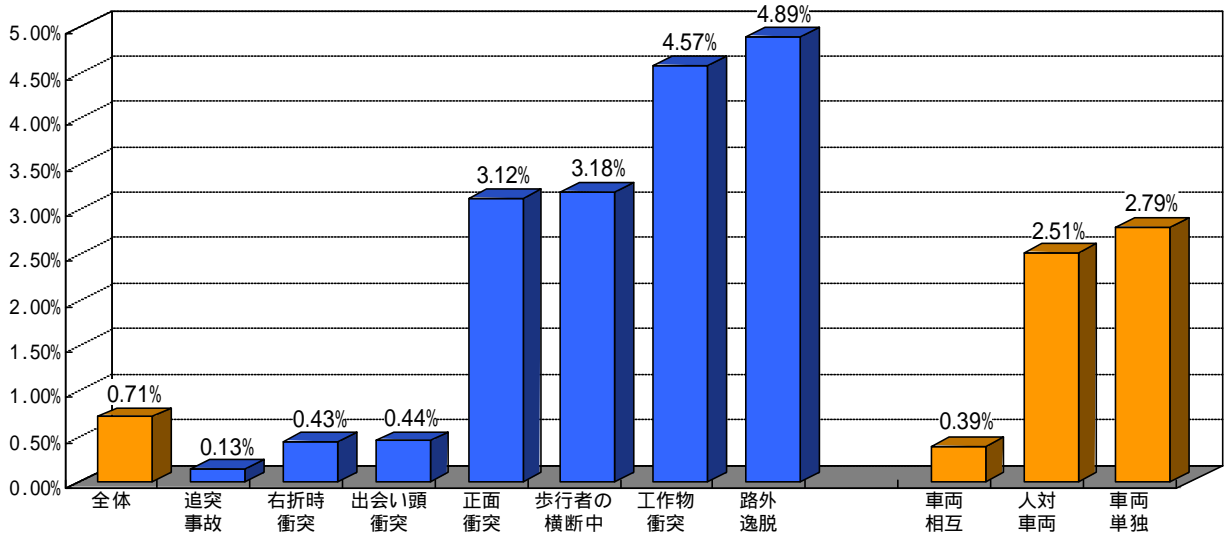
交通事故発生状況を事故類型別にみると、軽傷事故では、追突事故及び出会い頭衝突が約6割（構成率60.0%）を占めるのを始め、大半が車両相互（同87.8%）であるのに対して、死亡事故では、人対車両及び車両単独で半数以上（同52.2%）を占めている。また、正面衝突、車両単独及び歩行者の横断中事故の占める割合は、被害程度が深刻な事故ほど高くなる傾向にある。

死亡事故率を事故類型別にみると、全体と比べて、路外逸脱は6.9倍、工作物衝突は6.4倍、歩行者の横断中事故は4.5倍、正面衝突は4.4倍であり、これら死亡事故率の高い形態の事故が近年減少傾向にあることが死亡事故減少の一因となっていると考えられる。

事故類型別交通事故状況（構成率）（平成17年中）



事故類型別死亡事故率（平成17年中）



事故類型別交通事故件数（平成17年中）

区分	人対車両		車両相互					車両単独		列車	合計	
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右折時	工作物	路外逸脱				
交通事故件数	45,941	79,934	27,373	294,431	246,945	83,145	801,911	22,877	4,215	51,853	130	933,828
死亡事故数	1,460	2,007	854	385	1,092	356	3,116	1,045	206	1,448	54	6,625
死亡事故率	3.18	2.51	3.12	0.13	0.44	0.43	0.39	4.57	4.89	2.79	41.54	0.71

注 死亡事故率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

才 自転車関連事故

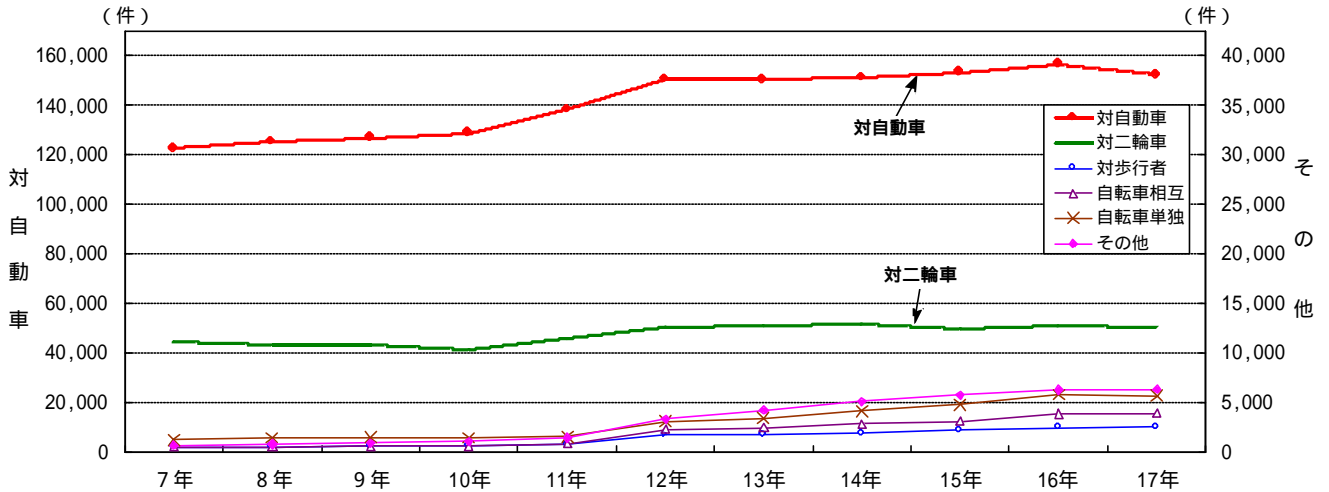
交通事故全体の2割を占める。出会い頭衝突が半数以上。

自転車乗用者（第1・2当事者）の交通事故件数は18万3,653件で、交通事故全体の約2割（構成率19.7%）を占めるとともに、10年間で1.3倍（平成7年の1.34倍）に増加している。

自転車乗用者（第1・2当事者）の交通事故件数を事故類型別にみると、出会い頭が半数以上（同53.3%）を占め、次いで右折時衝突（同11.1%）、左折時衝突（同10.2%）の順に多い。

また、交通事故件数を相手当事者別にみると、対自動車約8割（同82.9%）と圧倒的に多く、次いで対二輪車（同6.9%）となっている。前年と比較すると、対自動車大幅に減少（前年比-4,271件、-2.7%）したのに対し、対歩行者（同+80件、+3.2%）及び自転車相互（同+66件、+1.7%）は増加した。

自転車乗用者（第1・2当事者）の相手当事者別交通事故件数の推移（各年12月末）



自転車乗用者（第1・2当事者）の交通事故発生件数の推移（各年12月末）

区分	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	指数
自転車関連事故		136,831	139,725	141,504	143,017	154,510	173,876	175,223	178,289	181,845	187,980	183,653	-4,327	-2.3	134
	構成率	18.0	18.1	18.1	17.8	18.2	18.7	18.5	19.0	19.2	19.7	19.7	-	-	109
	死亡事故	1,121	1,049	1,063	983	1,034	982	993	991	980	863	849	-14	-1.6	76
	構成率	11.0	11.0	11.5	11.2	11.9	11.3	11.8	12.4	13.1	12.2	12.8	-	-	117

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

注3 構成率は、交通(死亡)事故全体に占める自転車関連事故の占める割合である。

自転車乗用者（第1・2当事者）の態様別交通事故件数（平成17年中）

【事故類型別】		年			
事故類型別		17年	増減数	増減率	構成率
人対車両	対面通行中	416	-27	-6.1	0.2
	背面通行中	389	31	8.7	0.2
	横断中	559	19	3.5	0.3
	その他	1,212	57	4.9	0.7
	計	2,576	80	3.2	1.4
車両相互	正面衝突	4,436	-137	-3.0	2.4
	追突	2,379	-120	-4.8	1.3
	出会い頭衝突	97,816	-1,653	-1.7	53.3
	追越・追抜時衝突	4,318	-136	-3.1	2.4
	進路変更時衝突	1,422	76	5.6	0.8
	すれ違い時衝突	3,196	-204	-6.0	1.7
	左折時衝突	18,648	-461	-2.4	10.2
	右折時衝突	20,413	-485	-2.3	11.1
	横断時衝突	4,687	-444	-8.7	2.6
	転回時衝突	192	21	12.3	0.1
	後退時衝突	3,478	-86	-2.4	1.9
	その他	14,338	-641	-4.3	7.8
	計	175,323	-4,270	-2.4	95.5
車両単独	工作物衝突	734	-67	-8.4	0.4
	転倒	3,967	-58	-1.4	2.2
	その他	1,039	-15	-1.4	0.6
計	5,740	-140	-2.4	3.1	
列車		14	3	27.3	0.0
合計		183,653	-4,327	-2.3	100.0

注 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

【相手当事者別】		年			
相手当事者別		17年	増減数	増減率	構成率
対自動車		152,287	-4,271	-2.7	82.9
対二輪車		12,706	-87	-0.7	6.9
対歩行者		2,576	80	3.2	1.4
自転車相互		3,974	66	1.7	2.2
自転車単独		5,740	-140	-2.4	3.1
その他		6,370	25	0.4	3.5
合計		183,653	-4,327	-2.3	100.0

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 「その他」には、ひき逃げ・あて逃げ等で相手当事者が不明の場合を含む。

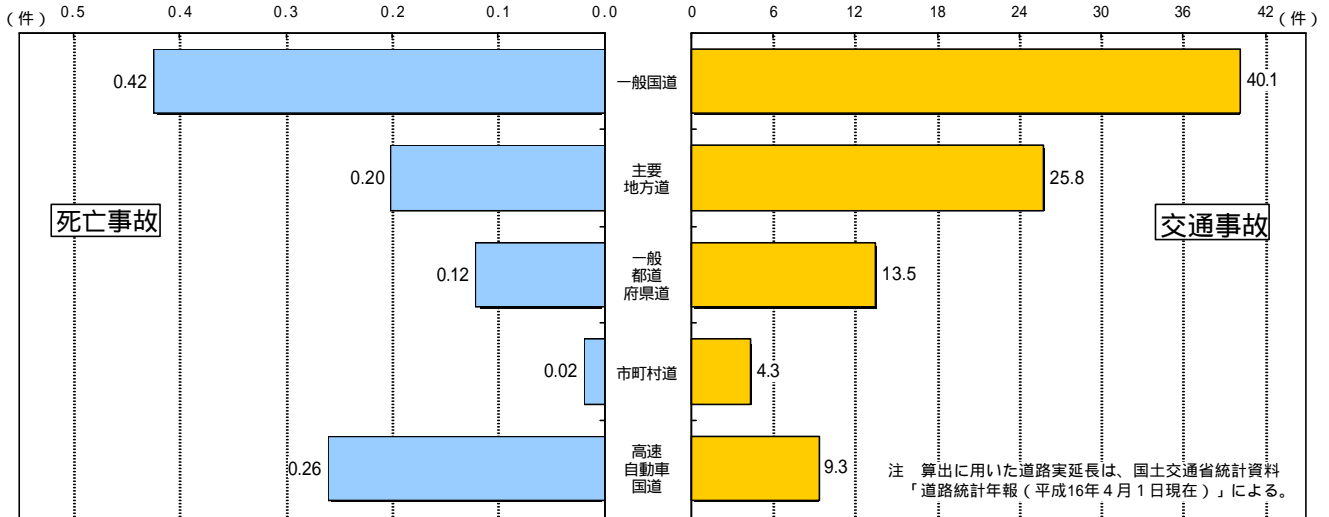
(4) 道路種類別の状況と特徴

道路実延長当たりの交通事故は一般国道が最も多い。

交通事故件数を道路種類別にみると、交通事故全体では、市町村道が半数近く（構成率46.2%）を占め最も多く、次いで一般国道（同23.2%）、主要地方道（同16.0%）の順に多いのに対して、死亡事故では、一般国道が約3分の1（同34.6%）を占め最も多く、次いで市町村道（同29.1%）、主要地方道（同17.6%）の順に多い。

道路実延長10km当たりの交通事故件数を道路種類別にみると、交通事故全体、死亡事故共に一般国道が最も多く、市町村道が最も少ない。また、高速自動車国道は、交通事故全体では市町村道に次いで少ないのに対して、死亡事故では一般国道に次いで多くなっている。

道路種類別道路実延長10km当たり交通事故件数（平成17年中）



道路種類別交通事故件数の推移（各年12月末）

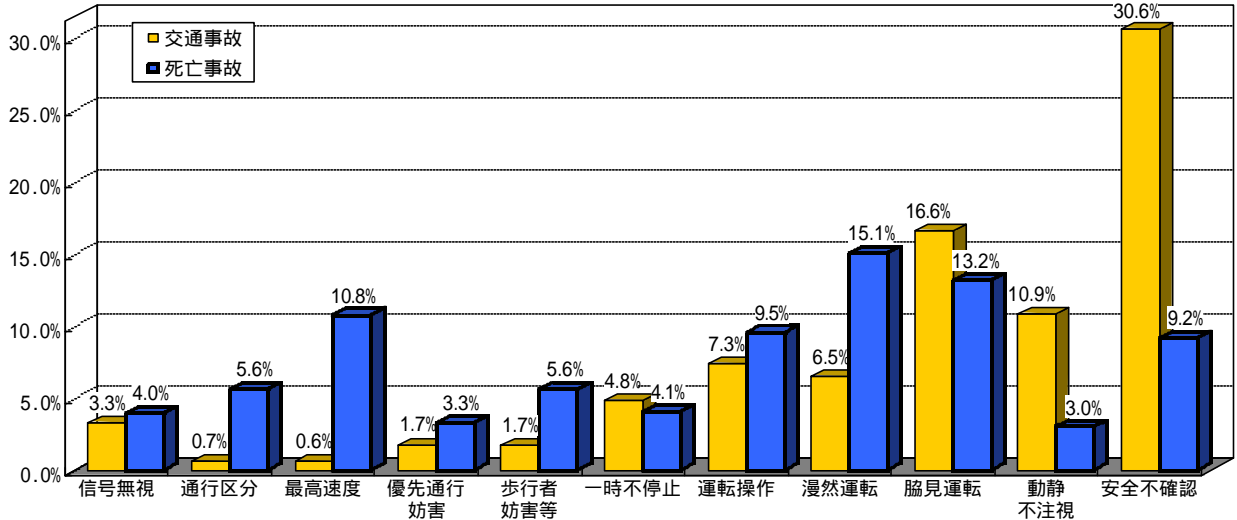
道路種類	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
交通事故件数	一般国道	189,346	189,351	190,351	197,277	205,997	223,416	226,881	223,516	224,630	224,007	217,032	-6,975	-3.1	23.2	115
	主要地方道	122,485	124,397	126,668	130,021	137,889	151,032	153,340	150,499	153,045	152,037	149,019	-3,018	-2.0	16.0	122
	一般都道府県道	76,609	77,701	79,442	82,600	87,577	97,601	97,409	95,426	96,996	97,289	95,963	-1,326	-1.4	10.3	125
	市町村道	350,894	355,825	359,249	367,624	390,285	426,625	434,137	431,148	435,369	439,533	431,755	-7,778	-1.8	46.2	123
	高速自動車国道	6,803	6,660	6,574	6,499	6,900	7,661	7,701	7,480	7,118	6,840	6,797	-43	-0.6	0.7	100
	自動車専用道	5,176	5,764	6,017	6,273	6,794	7,251	7,628	7,145	7,424	7,441	7,506	65	0.9	0.8	145
	その他	10,476	11,386	12,098	13,584	14,921	18,348	20,073	21,507	23,411	25,044	25,756	712	2.8	2.8	246
計	761,789	771,084	780,399	803,878	850,363	931,934	947,169	936,721	947,993	952,191	933,828	-18,363	-1.9	100.0	123	
死亡事故件数	一般国道	3,607	3,351	3,187	3,011	3,021	3,035	2,853	2,742	2,582	2,427	2,294	-133	-5.5	34.6	64
	主要地方道	1,929	1,789	1,729	1,691	1,623	1,609	1,552	1,533	1,358	1,239	1,168	-71	-5.7	17.6	61
	一般都道府県道	1,319	1,158	1,214	1,120	1,197	1,140	1,090	1,021	931	896	861	-35	-3.9	13.0	65
	市町村道	2,807	2,664	2,566	2,489	2,397	2,418	2,426	2,264	2,151	2,143	1,928	-215	-10.0	29.1	69
	高速自動車国道	286	286	289	245	221	241	251	216	216	204	190	-14	-6.9	2.9	66
	自動車専用道	125	100	94	98	102	105	93	81	101	73	71	-2	-2.7	1.1	57
	その他	154	169	141	143	120	159	149	136	117	102	113	11	10.8	1.7	73
計	10,227	9,517	9,220	8,797	8,681	8,707	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	-459	-6.5	100.0	65	
死亡事故率	一般国道	1.90	1.77	1.67	1.53	1.47	1.36	1.26	1.23	1.15	1.08	1.06	-	-	-	-
	主要地方道	1.57	1.44	1.36	1.30	1.18	1.07	1.01	1.02	0.89	0.81	0.78	-	-	-	-
	一般都道府県道	1.72	1.49	1.53	1.36	1.37	1.17	1.12	1.07	0.96	0.92	0.90	-	-	-	-
	市町村道	0.80	0.75	0.71	0.68	0.61	0.57	0.56	0.53	0.49	0.49	0.45	-	-	-	-
	高速自動車国道	4.20	4.29	4.40	3.77	3.20	3.15	3.26	2.89	3.03	2.98	2.80	-	-	-	-
	自動車専用道	2.41	1.73	1.56	1.56	1.50	1.45	1.22	1.13	1.36	0.98	0.95	-	-	-	-
	その他	1.47	1.48	1.17	1.05	0.80	0.87	0.74	0.63	0.50	0.41	0.44	-	-	-	-
計	1.34	1.23	1.18	1.09	1.02	0.93	0.89	0.85	0.79	0.74	0.71	-	-	-	-	

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。
 2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。
 3 死亡事故率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

最高速度及び通行区分違反は死亡事故率が高い。

原付以上運転者（第1当事者）による交通事故件数を法令違反別に死亡事故と比較すると、最高速度及び通行区分違反は、交通事故全体に比べて死亡事故に占める割合が著しく高く、死亡事故率はそれぞれ全体の18.8倍、8.6倍となっている。一方、動静不注視及び安全不確認は、死亡事故に比べて交通事故全体に占める割合が3倍以上高くなっている。

原付以上運転者（第1当事者）の主な法令違反別交通事故件数（構成率）（平成17年中）



原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別交通事故件数（平成17年中）

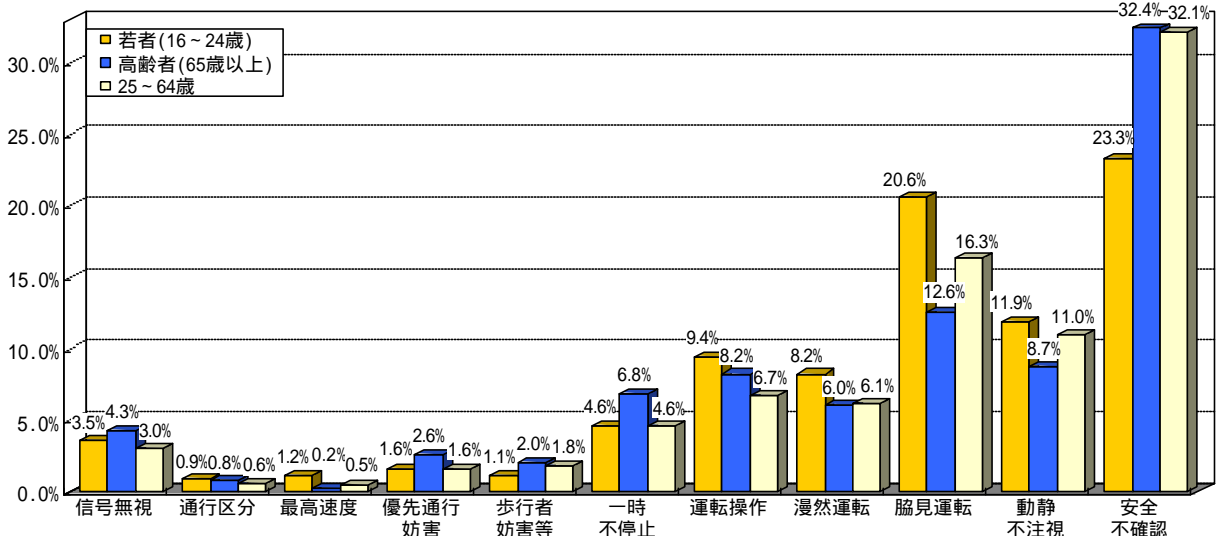
法令違反別	信号無視	通行区分	最高速度	優先通行妨害	歩行者妨害等	一時不停止	運転操作	漫然運転	脇見運転	動静不注視	安全不確認	その他	合計
交通事故件数	28,818	5,797	5,070	15,162	15,352	42,596	64,821	57,194	147,087	96,025	269,948	135,694	883,564
死亡事故	243	344	658	200	345	250	583	920	805	183	561	1,018	6,110
死亡事故率	0.84	5.93	12.98	1.32	2.25	0.59	0.90	1.61	0.55	0.19	0.21	0.75	0.69

注 死亡事故率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

他と比べて、若者は最高速度違反、漫然及び脇見運転、高齢者は信号無視、優先通行妨害及び一時不停止の割合が特に高い。

原付以上運転者（第1当事者）による交通事故件数を法令違反別・年齢層別にみると、若者は、安全不確認（構成率23.3%）が最も多く、他の年齢層に比べて、最高速度違反（同1.2%）漫然運転（同8.2%）及び脇見運転（同20.6%）の割合が特に高いのに対して、安全不確認の割合が低い。一方、高齢者は、安全不確認（同32.4%）が最も多く、他の年齢層に比べて、信号無視（同4.3%）、優先通行妨害（同2.6%）及び一時不停止（同6.8%）の割合が特に高く、動静不注視（同8.7%）の割合が低い。

原付以上運転者（第1当事者）の主な法令違反別・年齢層別交通事故件数（構成率）（平成17年中）



(6) 飲酒有無別の状況と特徴

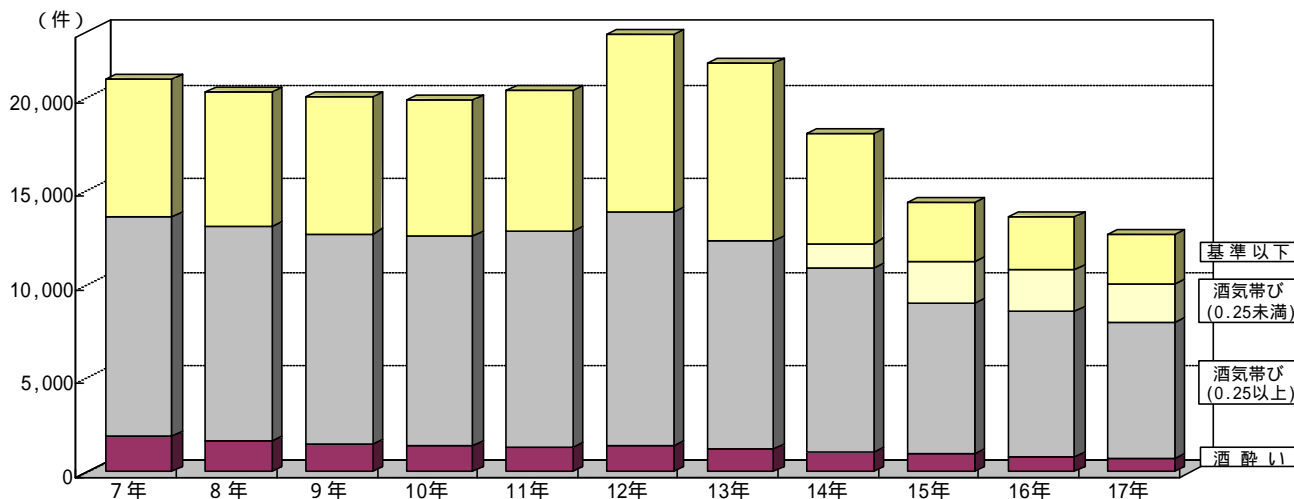
飲酒運転による交通事故が大幅に減少。酒酔い運転による事故は10年間で3分の1。

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転による交通事故は1万3,875件（構成率1.6%）で、前年と比較すると、大幅に減少（前年比-1,303件、-8.6%）している。

飲酒運転による交通事故は、10年間で約4割（平成7年の0.62倍）の減少となったが、改正道路交通法（平成14年6月施行）により飲酒運転に対する罰則等が強化された14年以降の減少が顕著であり、特に酒酔い運転は10年間で約3分の1（同0.35倍）にまで減少するに至っている。

また、死亡事故率を飲酒有無別にみると、飲酒運転の死亡事故率は飲酒なしの8.4倍であり、酒酔い運転に至っては36.5倍と高く、飲酒運転による交通事故が死亡事故につながる危険性の高いことを示している。

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転による交通事故件数の推移（各年12月末）



注 検知不能を除く。

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒有無別交通事故件数の推移（各年12月末）

飲酒別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
飲酒	酒酔い	1,901	1,635	1,425	1,382	1,269	1,364	1,188	1,031	926	772	657	-115	-14.9	0.1	35
	酒気帯び(0.25以上)	11,647	11,409	11,246	11,153	11,571	12,463	11,136	9,849	8,067	7,757	7,234	-523	-6.7	0.8	62
あり	酒気帯び(0.25未満)	-	-	-	-	-	-	-	1,284	2,219	2,195	2,087	-108	-4.9	0.2	-
	基準以下	7,344	7,188	7,300	7,298	7,483	9,446	9,433	5,875	3,111	2,884	2,629	-255	-8.8	0.3	36
	検知不能	1,454	1,396	1,318	1,227	1,279	3,007	3,643	2,289	2,051	1,570	1,268	-302	-19.2	0.1	87
	小計	22,346	21,628	21,289	21,060	21,602	26,280	25,400	20,328	16,374	15,178	13,875	-1,303	-8.6	1.6	62
	飲酒あり構成率	3.1	2.9	2.9	2.7	2.6	3.0	2.8	2.3	1.8	1.7	1.6	-	-	-	51
飲酒なし		699,602	711,671	723,257	747,916	792,215	859,414	875,487	868,035	882,102	884,666	868,431	-16,235	-1.8	98.3	124
調査不能		1,739	1,889	1,761	2,050	1,995	2,430	2,226	1,690	1,485	1,275	1,258	-17	-1.3	0.1	72
合計		723,687	735,188	746,307	771,026	815,812	888,124	903,113	890,053	899,961	901,119	883,564	-17,555	-1.9	100.0	122

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

注2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

注3 平成14年の「酒気帯び(0.25未満)」の件数は、6月以降の件数である。

注4 「酒酔い」の件数は、交通事故に最も影響を与えている法令違反別の分類による件数とは一致しない。

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒有無別死亡事故率の推移（各年12月末）

飲酒別	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
飲酒	酒酔い	21.41	20.49	23.93	24.38	26.64	26.32	25.08	23.08	18.68	20.08	22.22
	酒気帯び(0.25以上)	4.38	4.62	4.31	4.82	4.71	4.12	4.00	3.89	3.84	3.97	4.16
あり	酒気帯び(0.25未満)	-	-	-	-	-	-	-	-	3.06	2.55	3.69
	基準以下	3.42	2.85	2.99	2.63	2.90	2.52	2.64	2.74	2.73	2.84	2.89
	検知不能	15.34	16.40	14.87	16.30	12.28	5.52	5.46	7.21	7.02	6.94	8.44
	小計	6.22	5.99	5.82	6.02	5.82	4.86	4.69	4.90	4.76	4.68	5.10
飲酒なし		1.09	1.00	0.96	0.88	0.82	0.76	0.72	0.71	0.67	0.64	0.61
調査不能		13.17	12.28	12.83	13.51	10.08	7.98	9.79	11.83	10.91	7.76	9.38
合計		1.27	1.17	1.13	1.05	0.98	0.90	0.85	0.82	0.76	0.72	0.69
酒酔い/飲酒なし		19.7	20.6	24.9	27.8	32.5	34.5	34.8	32.7	27.9	31.2	36.5
飲酒あり/飲酒なし		5.7	6.0	6.1	6.9	7.1	6.4	6.5	6.9	7.1	7.3	8.4

注 死亡事故率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

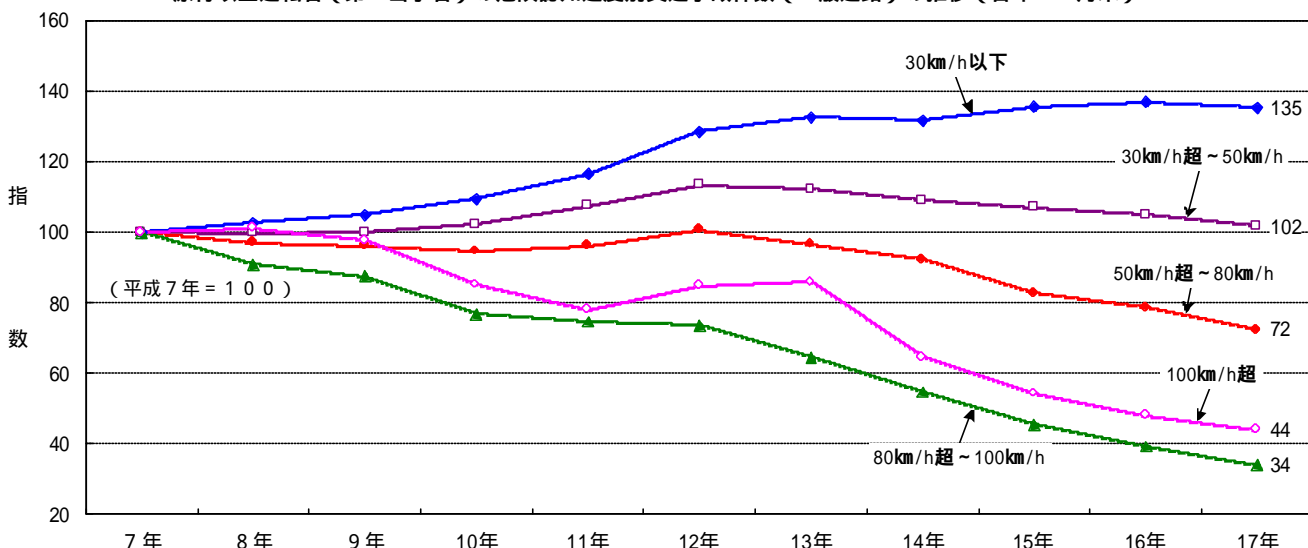
(7) 危険認知速度別の状況と特徴

80 km/h超の高速走行時の事故が大幅に減少。

一般道路における原付以上運転者（第1当事者）の交通事故件数を危険認知速度（運転者が危険を認知した時点の速度）別にみると、30 km/h以下が全体の約4分の3（構成率74.7%）を占めている。また、死亡率をみると、車両速度が高くなるほど死亡率も高くなっている。

過去10年間の推移をみると、30 km/h以下は、10年間で1.3倍（平成7年の1.35倍）に増加しているのに対して、80 km/h超～100 km/h（同0.34倍）及び100 km/h超（同0.44倍）は大幅に減少しており、死亡率の高い高速走行時の交通事故が減少していることが死亡事故減少の一因になっていると考えられる。

原付以上運転者（第1当事者）の危険認知速度別交通事故件数（一般道路）の推移（各年12月末）



原付以上運転者（第1当事者）の危険認知速度別交通事故件数（一般道路）の推移（各年12月末）

年		7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	増減数	増減率	構成率	指数
30 km/h以下	停止中	11,360	12,063	12,240	12,732	13,390	14,039	13,709	13,201	12,975	12,950	12,570	-380	-2.9	1.4	111
	10km/h以下	181,932	192,016	199,583	212,434	230,126	261,252	270,818	275,689	289,100	296,260	292,081	-4,179	-1.4	33.6	161
	20km/h以下	166,690	167,961	170,460	176,252	187,296	203,691	209,633	206,677	210,315	211,565	210,139	-1,426	-0.7	24.2	126
	30km/h以下	120,090	121,496	121,979	124,325	128,923	138,771	142,239	136,803	138,662	137,262	134,840	-2,422	-1.8	15.5	112
小計	480,072	493,536	504,262	525,743	559,735	617,753	636,399	632,370	651,052	658,037	649,630	-8,407	-1.3	74.7	135	
50 km/h以下	40km/h以下	114,349	114,352	114,629	116,976	123,168	130,309	129,129	126,017	124,635	122,471	119,233	-3,238	-2.6	13.7	104
	50km/h以下	65,318	64,790	65,158	66,941	69,916	73,420	72,457	69,934	67,691	66,176	63,634	-2,542	-3.8	7.3	97
	小計	179,667	179,142	179,787	183,917	193,084	203,729	201,586	195,951	192,326	188,647	182,867	-5,780	-3.1	21.0	102
80 km/h以下	60km/h以下	30,434	30,032	29,886	30,238	30,974	32,722	31,293	30,450	28,019	26,877	25,241	-1,636	-6.1	2.9	83
	70km/h以下	11,862	11,023	10,985	10,359	10,526	10,871	10,579	9,859	8,426	7,966	7,055	-911	-11.4	0.8	59
	80km/h以下	5,987	5,832	5,515	5,108	4,969	4,983	4,780	4,229	3,462	3,126	2,591	-535	-17.1	0.3	43
	小計	48,283	46,887	46,386	45,705	46,469	48,576	46,652	44,538	39,907	37,969	34,887	-3,082	-8.1	4.0	72
100 km/h以下	90km/h以下	1,474	1,312	1,249	1,169	1,186	1,170	997	897	731	672	559	-113	-16.8	0.1	38
	100km/h以下	1,542	1,433	1,393	1,147	1,065	1,055	947	751	645	512	462	-50	-9.8	0.1	30
	小計	3,016	2,745	2,642	2,316	2,251	2,225	1,944	1,648	1,376	1,184	1,021	-163	-13.8	0.1	34
100 km/h超	120km/h以下	460	431	415	335	307	333	283	228	183	168	142	-26	-15.5	0.0	31
	140km/h以下	104	132	97	96	91	84	96	68	62	60	51	-9	-15.0	0.0	49
	160km/h以下	35	25	34	40	36	38	36	30	20	13	20	7	53.8	0.0	57
	161km/h以上	26	45	65	61	53	75	122	78	74	60	62	2	3.3	0.0	238
	小計	625	633	611	532	487	530	537	404	339	301	275	-26	-8.6	0.0	44
調査不能	783	644	762	849	885	1,103	1,394	1,227	1,106	1,326	1,240	-86	-6.5	0.1	158	
合計	712,446	723,587	734,450	759,062	802,911	873,916	888,512	876,138	886,106	887,464	869,920	-17,544	-2.0	100.0	122	

注1 増減数(率)は、平成16年と比較した値である。

2 指数は、平成7年を100とした場合の平成17年の値である。

原付以上運転者（第1当事者）の危険認知速度別交通事故件数（一般道路）（平成17年中）

法令違反別区分	停止中	10km/h以下	10km/h超～20km/h	20km/h超～30km/h	30km/h超～40km/h	40km/h超～50km/h	50km/h超～60km/h	60km/h超～70km/h	70km/h超～80km/h	80km/h超	調査不能	合計
交通事故件数	12,570	292,081	210,139	134,840	119,233	63,634	25,241	7,055	1,296	1,240	1,240	869,920
死亡事故	15	358	614	504	864	1,200	1,002	482	350	337	140	5,866
死亡率	0.12	0.12	0.29	0.37	0.72	1.89	3.97	6.83	13.51	26.00	11.29	0.67

注 死亡率 = 死亡事故件数 ÷ 交通事故件数 × 100

4 高速道路における交通事故発生状況

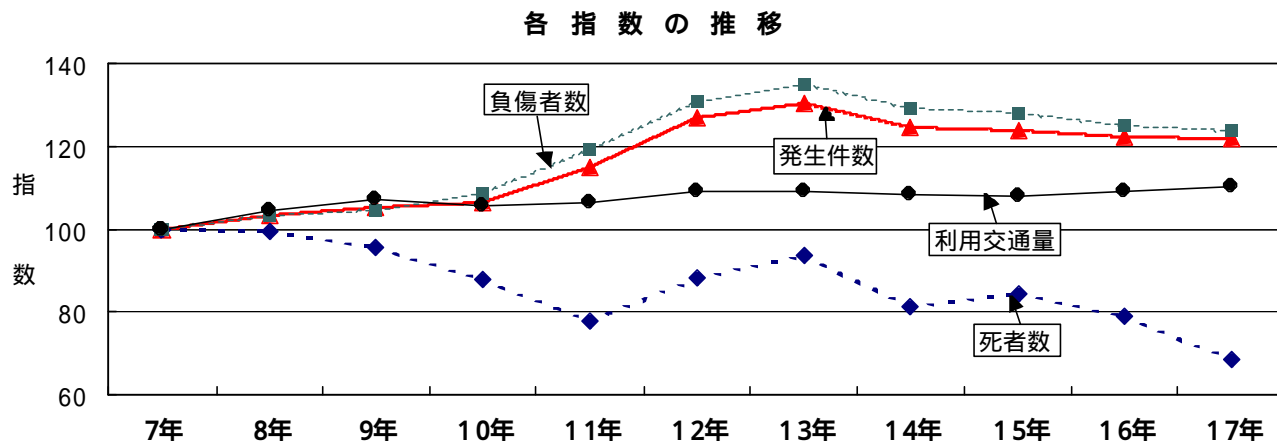
(1) 交通事故発生状況

発生件数	13,775件	前年比	- 22件、- 0.2%
死者数	285人	前年比	- 44人、- 13.4%
負傷者数	21,931人	前年比	- 188人、- 0.8%
・重傷者数	1,119人	前年比	- 154人、- 12.1%
・軽傷者数	20,812人	前年比	- 34人、- 0.2%

高速道路における交通事故は、前年と比較すると、発生件数、死者数及び負傷者数ともに減少した。

(2) 過去10年間の交通事故発生状況の推移

発生件数及び負傷者数は、平成7年以降増加傾向にあったが、13年をピークに減少傾向にある。死者数は、昭和62年以来18年ぶりに300人を切った。平成17年中の高速道路における致死率等を交通事故全体の致死率等と比較すると、死亡重傷率は同率、重傷者率(-0.86ポイント)は低いが、致死率(+0.59ポイント)は高く、約2.2倍となっている。



交通事故発生状況の推移

区分	年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
発生件数		11,304	11,673	11,914	12,029	12,986	14,325	14,726	14,083	13,992	13,797	13,775
死者数		416	413	397	366	323	367	389	338	351	329	285
負傷者数		17,715	18,256	18,471	19,259	21,079	23,181	23,888	22,875	22,661	22,119	21,931
重傷者数		1,404	1,371	1,278	1,304	1,423	1,444	1,428	1,469	1,378	1,273	1,119
致死率		2.29	2.21	2.10	1.86	1.51	1.56	1.60	1.46	1.53	1.47	1.28
重傷者率		7.93	7.51	6.92	6.77	6.75	6.23	5.98	6.42	6.08	5.76	5.10
死亡重傷率		10.04	9.56	8.88	8.51	8.16	7.69	7.48	7.78	7.51	7.14	6.32
利用交通量		633.5	661.5	677.9	669.7	674.2	691.7	691.7	686.6	684.0	690.1	697.5

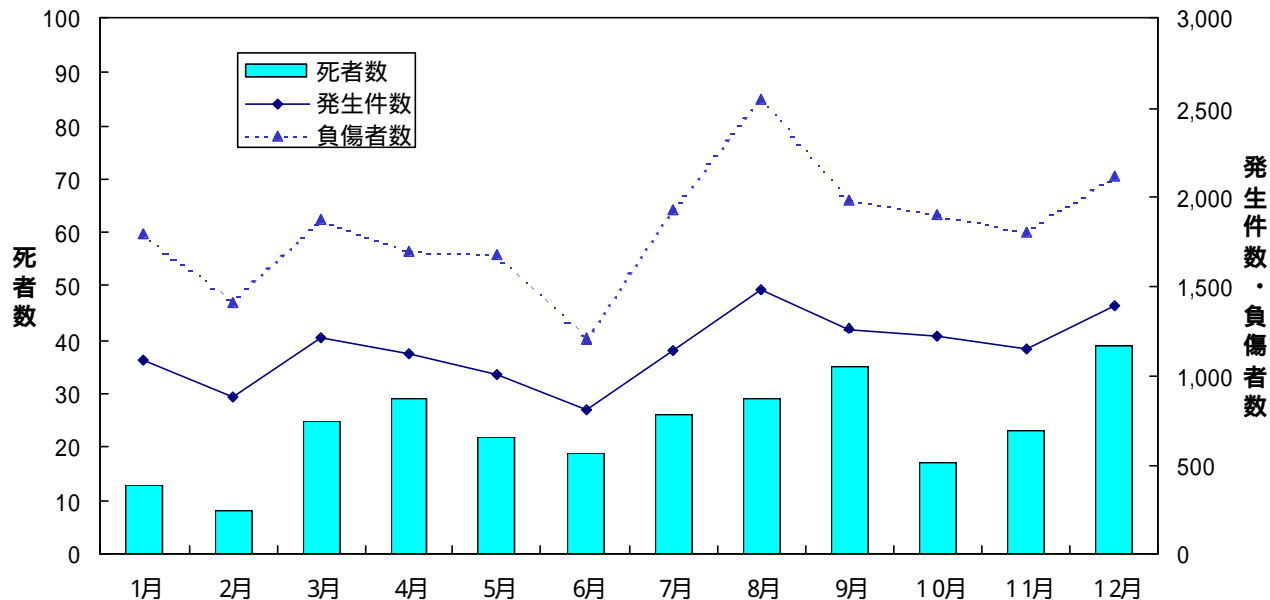
- 注1 重傷者数は、負傷者数の内数である。
 2 致死率 = 死者数 ÷ (死者数 + 負傷者数) × 100
 3 重傷者率 = 重傷者数 ÷ 負傷者数 × 100
 4 死亡重傷率 = (死者数 + 重傷者数) ÷ 死傷者数 × 100
 5 利用交通量(億台km)は高速自動車国道の利用交通量である。

(3) 月別交通事故発生状況

平成17年中の月別交通事故発生件数をみると、8月が1,475件と最も多く、次いで12月の1,389件となっている。最も少ない月は、6月で808件となっている。前年と比較すると、9月(前年比+145件、+13.0%)が最も増加し、6月(同-164件、-16.9%)が最も減少した。

月別死者数をみると、12月が39人と最も多く、次いで9月の35人となっている。最も少ない月は、2月で8人となっている。

月別交通事故発生状況



月別交通事故発生件数及び死傷者数

区分 月	発生件数			死者数			負傷者数					
	増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率	重傷者数			
									増減数	増減率	増減数	増減率
1月	1,087	119	12.3%	13	-11	-45.8%	1,793	173	10.7%	86	-3	-3.4%
2月	881	-112	-11.3%	8	-14	-63.6%	1,408	-151	-9.7%	69	-26	-27.4%
3月	1,220	7	0.6%	25	-8	-24.2%	1,878	17	0.9%	82	-19	-18.8%
4月	1,123	46	4.3%	29	10	52.6%	1,692	-27	-1.6%	105	4	4.0%
5月	1,010	-73	-6.7%	22	-12	-35.3%	1,680	-171	-9.2%	96	-14	-12.7%
6月	808	-164	-16.9%	19	-5	-20.8%	1,204	-338	-21.9%	78	-39	-33.3%
7月	1,145	-15	-1.3%	26	-5	-16.1%	1,929	67	3.6%	96	-4	-4.0%
8月	1,475	91	6.6%	29	-3	-9.4%	2,551	170	7.1%	124	0	0.0%
9月	1,264	145	13.0%	35	8	29.6%	1,981	174	9.6%	110	6	5.8%
10月	1,222	-116	-8.7%	17	-12	-41.4%	1,899	-203	-9.7%	99	-12	-10.8%
11月	1,151	-1	-0.1%	23	-8	-25.8%	1,802	-32	-1.7%	81	-21	-20.6%
12月	1,389	51	3.8%	39	16	69.6%	2,114	133	6.7%	93	-26	-21.8%
合計	13,775	-22	-0.2%	285	-44	-13.4%	21,931	-188	-0.8%	1,119	-154	-12.1%

(4) 路線別交通事故発生状況

最近5年間の路線別交通事故発生件数をみると、発生件数が多い上位3路線はいずれも同一路線であり、首都高速道路は毎年2,500件を超えている。

路線別交通事故発生件数の推移

13年		14年		15年		16年		17年	
首都高速道路	2,782	首都高速道路	2,508	首都高速道路	2,571	首都高速道路	2,611	首都高速道路	2,633
阪神高速道路	1,297	阪神高速道路	1,277	阪神高速道路	1,425	阪神高速道路	1,474	阪神高速道路	1,454
東名高速道路	1,181	東名高速道路	1,136	東名高速道路	1,038	東名高速道路	1,032	東名高速道路	1,094
東北縦貫道	596	名神高速道路	623	中央道	582	中央道	547	中央道	547
中央道	570	中央道	611	東北縦貫道	566	東北縦貫道	530	東北縦貫道	524

供用距離1km当たりの交通事故発生件数が多い主要な路線

供用距離1km当たりの発生件数が多い主要な路線は、首都高速道路、阪神高速道路、近畿道（西名阪道）の順となっている。平成8年以降、供用距離1km当たりの発生件数が多い上位2路線はいずれも同一である。

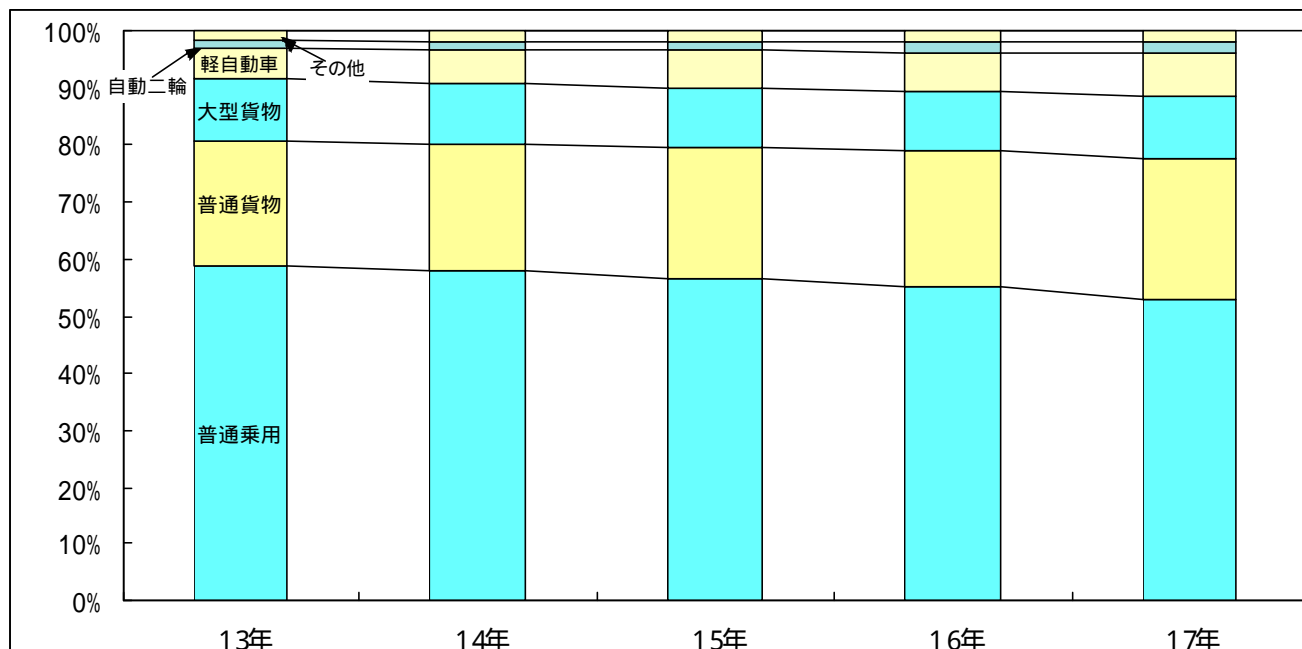
路線名	発生件数	供用距離	1km当たり発生件数
首都高速道路	2,633	283.3	9.2940
阪神高速道路	1,454	233.9	6.2163
近畿道（西名阪道）	280	55.6	5.0360
名阪国道	279	73.3	3.8063
名古屋都市高速道路	224	63.1	3.5499
東名高速道路	1,094	346.7	3.1555
名神高速道路	497	192.3	2.5845
近畿道（東名阪道）	212	86.0	2.6510
関越道	495	246.3	2.0097
常磐道	301	218.5	1.3776

注1 供用距離1km当たりの発生件数 = 発生件数 ÷ 供用距離 (km)

注2 主要な路線とは、供用距離が50km以上の路線である。

(5) 事故車両別(第1当事者)交通事故発生状況

平成17年中の事故車両別(第1当事者)交通事故発生件数をみると、普通乗用が7,318件(構成率53.1%)と最も多く、次いで普通貨物3,354件(同24.3%)、大型貨物1,534件(同11.1%)の順となっている。前年と比較すると、軽自動車(前年比+106件、+11.1%)、大型貨物(同+93件、+6.5%)が特に増加し、普通乗用(同-291件、-3.8%)、自動二輪(同-3件、-1.3%)が減少した。



事故車両別交通事故発生件数の推移

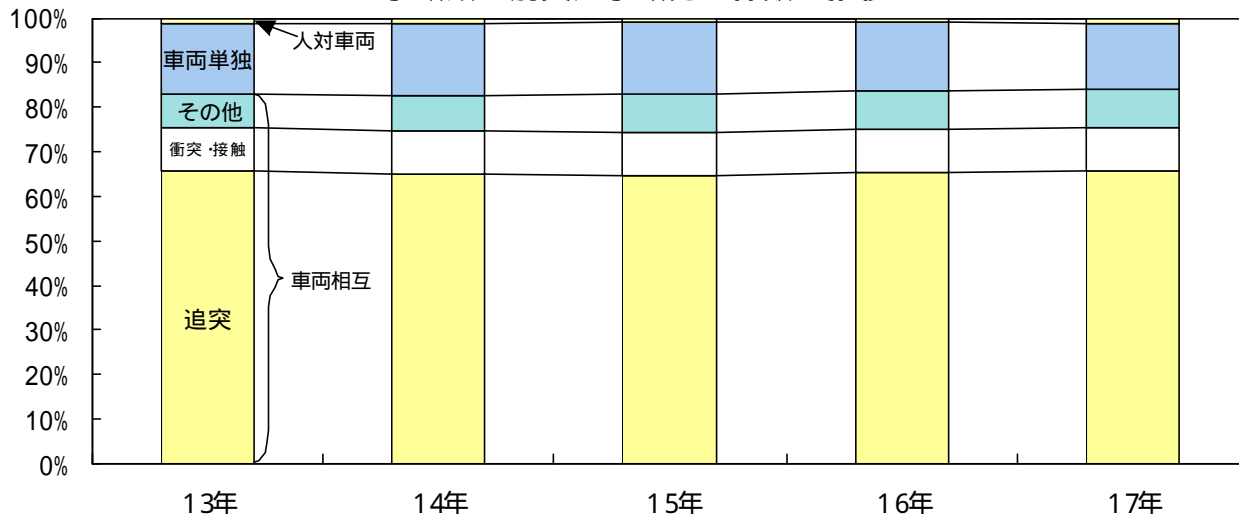
車種	年				17年			
	13年	14年	15年	16年	増減数	増減率	構成率	
バス・マイクロ	114	103	115	127	145	18	14.2%	1.1%
大型貨物	1,577	1,506	1,466	1,441	1,534	93	6.5%	11.1%
普通乗用	8,635	8,186	7,908	7,609	7,318	-291	-3.8%	53.1%
普通貨物	3,274	3,096	3,218	3,287	3,354	67	2.0%	24.3%
軽自動車	769	801	902	953	1,059	106	11.1%	7.7%
自動二輪	222	218	239	234	231	-3	-1.3%	1.7%
その他	135	173	144	146	134	-12	-8.2%	1.0%
合計	14,726	14,083	13,992	13,797	13,775	-22	-0.2%	100.0%

注 自動二輪は、総排気量125CC超の数値である。

(6) 事故類型別交通事故発生状況

平成17年中の事故類型別交通事故発生件数をみると、車両相互が11,566件(構成率84.0%)と最も多く、次いで車両単独2,043件(同14.8%)となっている。車両相互の中では、追突が9,059件(同65.8%)と最も多く、追突の中では、車線停止車に追突が5,062件(同36.7%)と最も多くなっている。

事故類型別交通事故発生件数の推移



事故類型別交通事故発生件数の推移

事故類型	年	13年	14年	15年	16年	17年				
						増減数	増減率	構成率		
人対車両	故障修理中	6	3	6	5	5	0	0.0%	0.0%	
	路上作業中	29	21	17	21	21	0	0.0%	0.2%	
	その他	143	136	114	109	140	31	28.4%	1.0%	
人対車両計		178	160	137	135	166	31	23.0%	1.2%	
車両相互	追突	追越・追抜	68	67	69	75	71	-4	-5.3%	0.5%
		走行車に	2,876	2,815	2,696	2,812	2,856	44	1.6%	20.7%
		車線停止車に	5,690	5,303	5,241	5,132	5,062	-70	-1.4%	36.7%
		路肩停止車に	70	49	73	61	71	10	16.4%	0.5%
		その他	981	947	938	974	999	25	2.6%	7.3%
	小計	9,685	9,181	9,017	9,054	9,059	5	0.1%	65.8%	
衝突・接触	対向車に	125	92	98	74	77	3	4.1%	0.6%	
	追越・追抜	298	292	307	294	272	-22	-7.5%	2.0%	
	走行車に	756	703	714	712	813	101	14.2%	5.9%	
	車線停止車に	147	146	129	131	108	-23	-17.6%	0.8%	
	路肩停止車に	18	11	9	13	16	3	23.1%	0.1%	
その他	65	73	76	70	32	-38	-54.3%	0.2%		
小計	1,409	1,317	1,333	1,294	1,318	24	1.9%	9.6%		
その他	1,143	1,132	1,275	1,195	1,189	-6	-0.5%	8.6%		
車両相互計		12,237	11,630	11,625	11,543	11,566	23	0.2%	84.0%	
車両単独	転路外逸	139	123	131	113	110	-3	-2.7%	0.8%	
	脱	28	36	27	31	31	0	0.0%	0.2%	
	中央分離帯等	631	642	644	589	563	-26	-4.4%	4.1%	
	防護柵等	1,138	1,139	1,068	965	910	-55	-5.7%	6.6%	
	駐車運転者不在	96	76	99	67	72	5	7.5%	0.5%	
その他	路上工作物	147	115	121	160	142	-18	-11.3%	1.0%	
	その他	132	162	140	194	215	21	10.8%	1.6%	
	車両単独計	2,311	2,293	2,230	2,119	2,043	-76	-3.6%	14.8%	
合計		14,726	14,083	13,992	13,797	13,775	-22	-0.2%	100.0%	

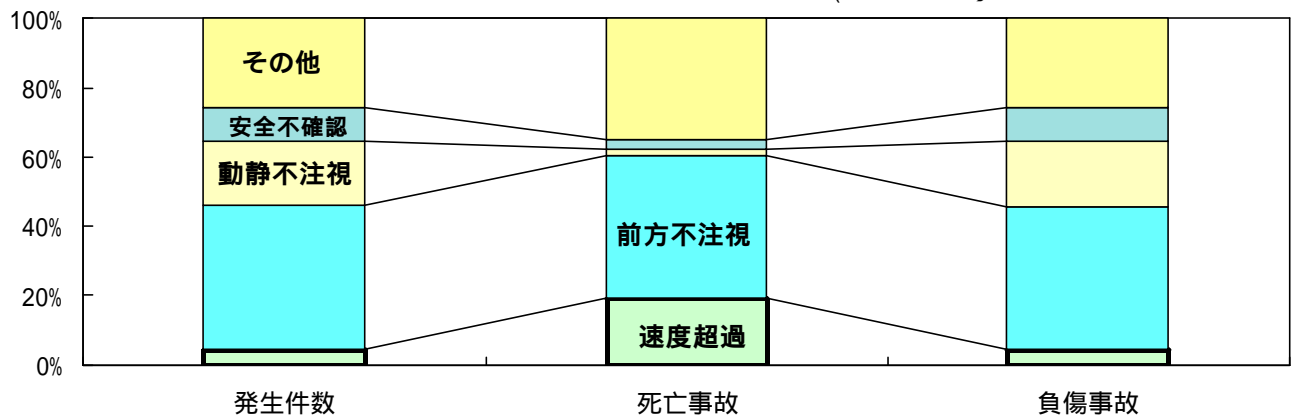
(7) 法令違反別交通事故発生状況

平成17年中の法令違反別交通事故発生件数をみると、前方不注視が5,698件(構成率41.4%)と最も多く、次いで動静不注視2,564件(同18.6%)となっている。死亡事故発生件数で見ると、前方不注視が103件(同41.4%)と最も多く、次いで速度超過47件(同18.9%)となっている。

法令違反別交通事故発生件数

違反	発生件数				死亡事故				負傷事故			
	件数	増減数	増減率	構成率	件数	増減数	増減率	構成率	件数	増減数	増減率	構成率
速度超過	619	-54	-8.0%	4.5%	47	-8	-14.5%	18.9%	572	-46	-7.4%	4.2%
酒酔い	4	1	33.3%	0.0%	3	1	50.0%	1.2%	1	0	0.0%	0.0%
車間距離	669	134	25.0%	4.9%	0	-1	-100.0%	0.0%	669	135	25.3%	4.9%
進路変更	87	-38	-30.4%	0.6%	2	2	-	0.8%	85	-40	-32.0%	0.6%
過労運転等	23	-5	-17.9%	0.2%	6	2	50.0%	2.4%	17	-7	-29.2%	0.1%
ハンドル操作	981	-93	-8.7%	7.1%	34	-5	-12.8%	13.7%	947	-88	-8.5%	7.0%
ブレーキ操作	1,002	-75	-7.0%	7.3%	3	-2	-40.0%	1.2%	999	-73	-6.8%	7.4%
前方不注視	5,698	-137	-2.3%	41.4%	103	1	1.0%	41.4%	5,595	-138	-2.4%	41.4%
動静不注視	2,564	76	3.1%	18.6%	5	3	150.0%	2.0%	2,559	73	2.9%	18.9%
安全不確認	1,291	203	18.7%	9.4%	7	-5	-41.7%	2.8%	1,284	208	19.3%	9.5%
安全速度	347	-15	-4.1%	2.5%	9	-3	-25.0%	3.6%	338	-12	-3.4%	2.5%
その他	490	-19	-3.7%	3.6%	30	-8	-21.1%	12.0%	460	-11	-2.3%	3.4%
合計	13,775	-22	-0.2%	100.0%	249	-23	-8.5%	100.0%	13,526	1	0.0%	100.0%

法令違反別交通事故発生件数の割合(平成17年)



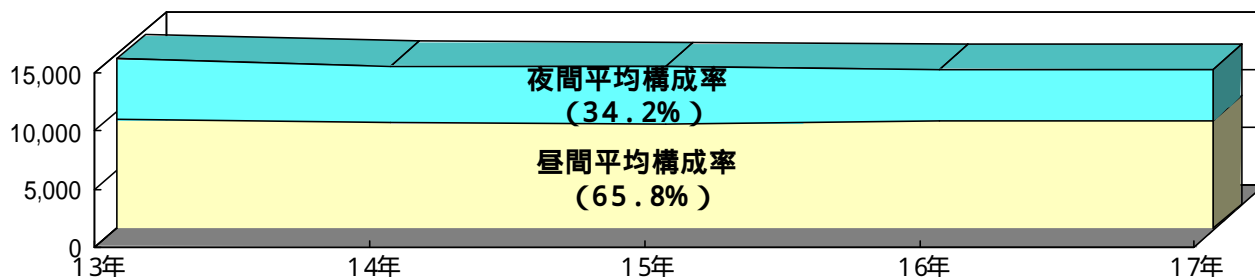
法令違反別交通事故発生件数の推移

違反	年	13年	14年	15年	16年	17年			
						増減数	増減率	構成率	
速度超過		891	898	866	673	619	-54	-8.0%	4.5%
酒酔い		12	4	2	3	4	1	33.3%	0.0%
車間距離		514	669	669	535	669	134	25.0%	4.9%
進路変更		202	130	121	125	87	-38	-30.4%	0.6%
過労運転等		37	40	34	28	23	-5	-17.9%	0.2%
ハンドル操作		1,094	1,140	1,128	1,074	981	-93	-8.7%	7.1%
ブレーキ操作		1,139	1,023	1,085	1,077	1,002	-75	-7.0%	7.3%
前方不注視		6,268	5,955	6,006	5,835	5,698	-137	-2.3%	41.4%
動静不注視		2,460	2,169	2,093	2,488	2,564	76	3.1%	18.6%
安全不確認		1,079	1,111	1,050	1,088	1,291	203	18.7%	9.4%
安全速度		472	385	402	362	347	-15	-4.1%	2.5%
その他		558	559	536	509	490	-19	-3.7%	3.6%
合計		14,726	14,083	13,992	13,797	13,775	-22	-0.2%	100.0%

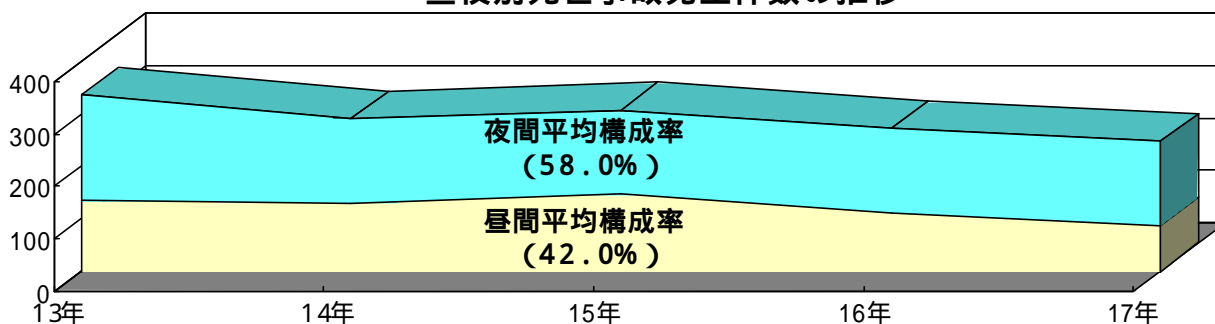
(8) 昼夜別交通事故発生状況

平成17年中の昼夜別交通事故発生件数をみると、昼間（構成率68.1%）が夜間（同31.9%）に比べて高くなっている。死亡事故発生件数でみると、昼間（同35.3%）に比べて夜間（同64.7%）が高くなっている。事故車両別時間別交通事故発生件数をみると、普通乗用は午前7時～午後7時の時間帯が多く、事故車両別時間別死亡事故発生件数でみると、大型貨物は午後10時～午前6時の間に多くなっている。

昼夜別交通事故発生件数の推移



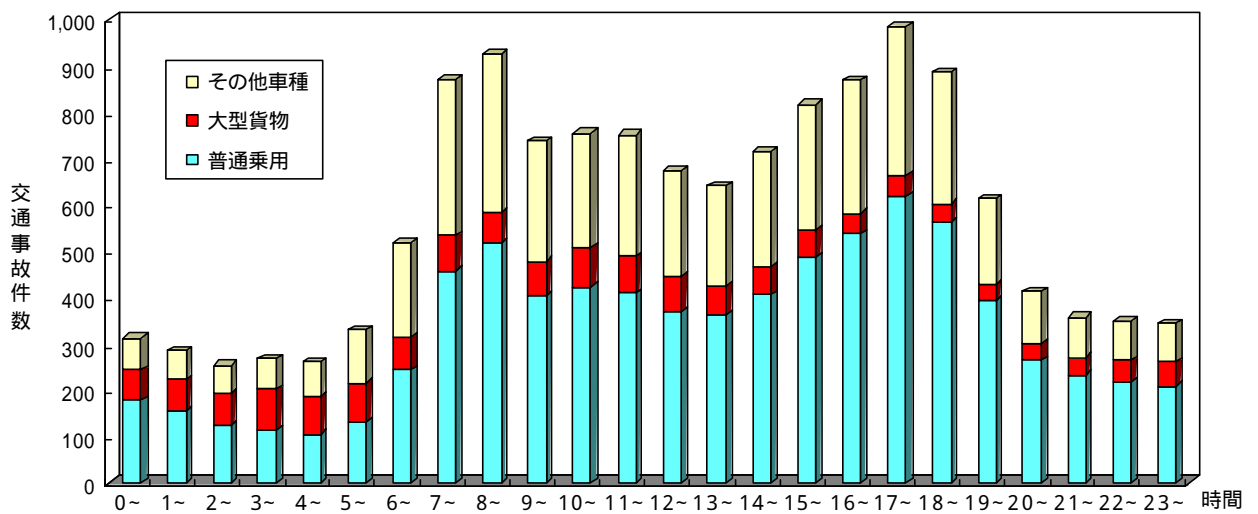
昼夜別死亡事故発生件数の推移



昼夜別交通事故発生件数の推移

昼夜別	年	13年	14年	15年	16年	17年			
						増減数	増減率	構成率	
昼間	死亡	137	129	147	109	88	-21	-19.3%	35.3%
	重傷	645	680	616	576	541	-35	-6.1%	58.1%
	軽傷	8,641	8,308	8,312	8,642	8,746	104	1.2%	69.4%
	小計	9,423	9,117	9,075	9,327	9,375	48	0.5%	68.1%
夜間	死亡	199	161	159	163	161	-2	-1.2%	64.7%
	重傷	520	513	461	427	390	-37	-8.7%	41.9%
	軽傷	4,584	4,292	4,297	3,880	3,849	-31	-0.8%	30.6%
	小計	5,303	4,966	4,917	4,470	4,400	-70	-1.6%	31.9%
合計	死亡	336	290	306	272	249	-23	-8.5%	100.0%
	重傷	1,165	1,193	1,077	1,003	931	-72	-7.2%	100.0%
	軽傷	13,225	12,600	12,609	12,522	12,595	73	0.6%	100.0%
	合計	14,726	14,083	13,992	13,797	13,775	-22	-0.2%	100.0%
昼間の構成率		64.0%	64.7%	64.9%	67.6%	68.1%			
夜間の構成率		36.0%	35.3%	35.1%	32.4%	31.9%			

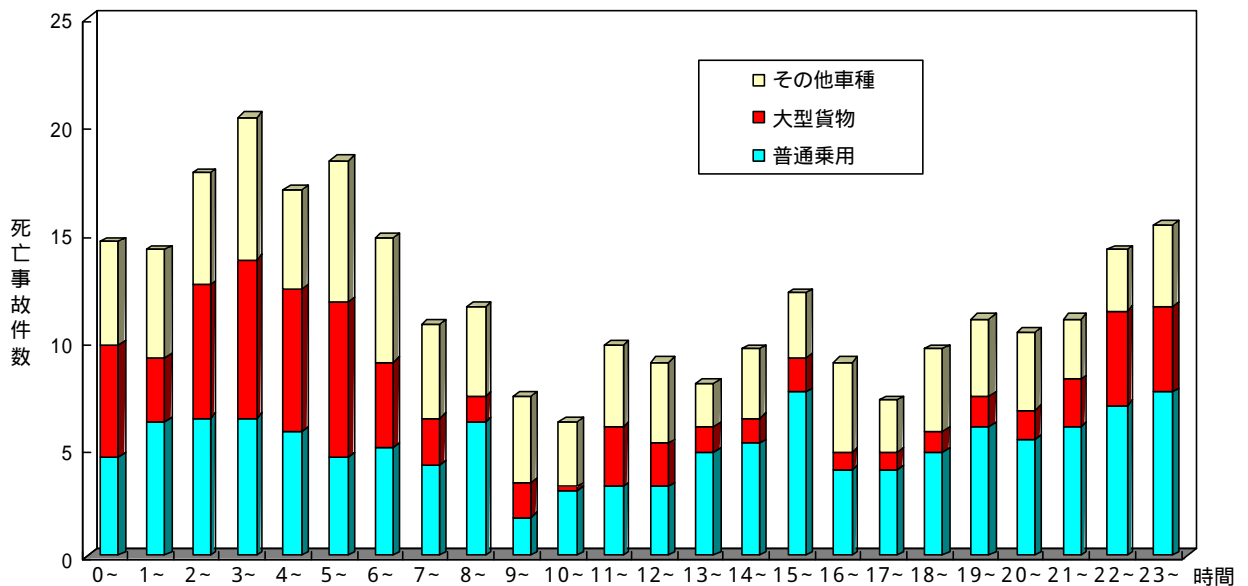
事故車両別時間別交通事故発生件数（最近5年間の平均）



	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～
大型貨物	65.0	66.0	69.4	88.0	79.8	84.8	71.6	74.6	65.0	76.0	86.2	79.6
普通乗用	178.0	156.4	123.2	114.2	106.2	131.2	244.0	459.0	519.6	403.2	423.2	409.2
その他車種	69.8	63.4	61.0	65.6	75.4	114.0	204.4	338.2	342.0	260.0	245.4	263.6

	12～	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～
大型貨物	75.2	63.4	60.8	57.2	46.2	46.6	40.2	34.2	36.4	38.6	49.0	51.8
普通乗用	369.4	362.8	406.8	488.6	536.2	618.4	563.6	394.2	264.4	233.0	216.2	210.0
その他車種	230.4	214.0	248.0	271.2	286.4	320.2	283.6	186.2	112.0	86.2	84.2	83.0

事故車両別時間別交通死亡事故発生件数（最近5年間の平均）

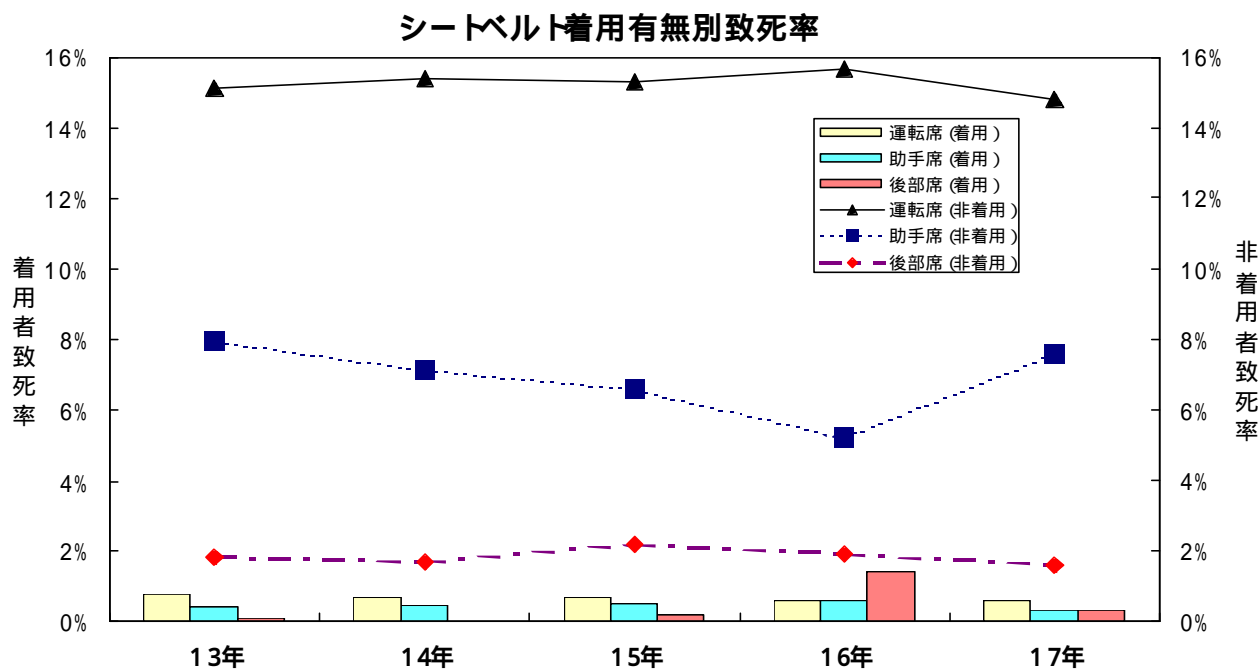


	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～
大型貨物	5.2	3.0	6.2	7.4	6.6	7.2	4.0	2.2	1.2	1.6	0.2	2.8
普通乗用	4.6	6.2	6.4	6.4	5.8	4.6	5.0	4.2	6.2	1.8	3.0	3.2
その他車種	4.8	5.0	5.2	6.6	4.6	6.6	5.8	4.4	4.2	4.0	3.0	3.8

	12～	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～
大型貨物	2.0	1.2	1.2	1.6	0.8	0.8	1.0	1.4	1.4	2.2	4.4	4.0
普通乗用	3.2	4.8	5.2	7.6	4.0	4.0	4.8	6.0	5.4	6.0	7.0	7.6
その他車種	3.8	2.0	3.2	3.0	4.2	2.4	3.8	3.6	3.6	2.8	2.8	3.8

(9) シートベルト着用有無別死傷者数

シートベルト着用有無別致死率をみると、運転席、助手席、後部席のいずれにおいても非着用者の致死率が着用者の致死率より高くなっており、非着用者の致死率は着用者に比べて、運転席では、24.7倍、助手席では25.3倍となっている。



シートベルト着用有無別死者数、死傷者数及び致死率の推移

区分	年		13年	14年	15年	16年	17年		
							増減数	増減率	
運転席	着用	死者数	108	93	99	81	77	-4	-4.9%
		死傷者数	13,695	13,154	13,235	13,201	13,045	-156	-1.2%
		致死率	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%		
	非着用	死者数	91	85	70	60	54	-6	-10.0%
		死傷者数	601	552	458	381	364	-17	-4.5%
		致死率	15.1%	15.4%	15.3%	15.7%	14.8%		
助手席	着用	死者数	18	19	22	25	13	-12	-48.0%
		死傷者数	4,454	4,244	4,227	3,928	4,008	80	2.0%
		致死率	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.3%		
	非着用	死者数	29	25	18	13	17	4	30.8%
		死傷者数	364	350	274	250	223	-27	-10.8%
		致死率	8.0%	7.1%	6.6%	5.2%	7.6%		
後部席	着用	死者数	1	0	2	14	3	-11	-78.6%
		死傷者数	1,189	1,235	1,165	981	1,148	167	17.0%
		致死率	0.1%	0.0%	0.2%	1.4%	0.3%		
	非着用	死者数	48	40	54	48	38	-10	-20.8%
		死傷者数	2,611	2,364	2,466	2,588	2,326	-262	-10.1%
		致死率	1.8%	1.7%	2.2%	1.9%	1.6%		

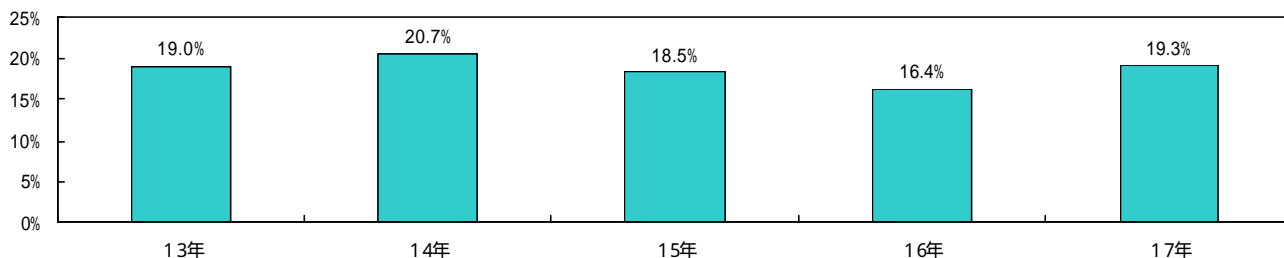
注 致死率 = 死者数 (自動車乗車中) ÷ 死傷者数 (自動車乗車中) × 100

(10) 車外放出による交通事故発生状況

車外放出による死者数は、平成13年をピークに減少傾向にある。また、車外放出による死傷者数をシートベルト着用の有無で見ると、非着用者が大半を占めている。

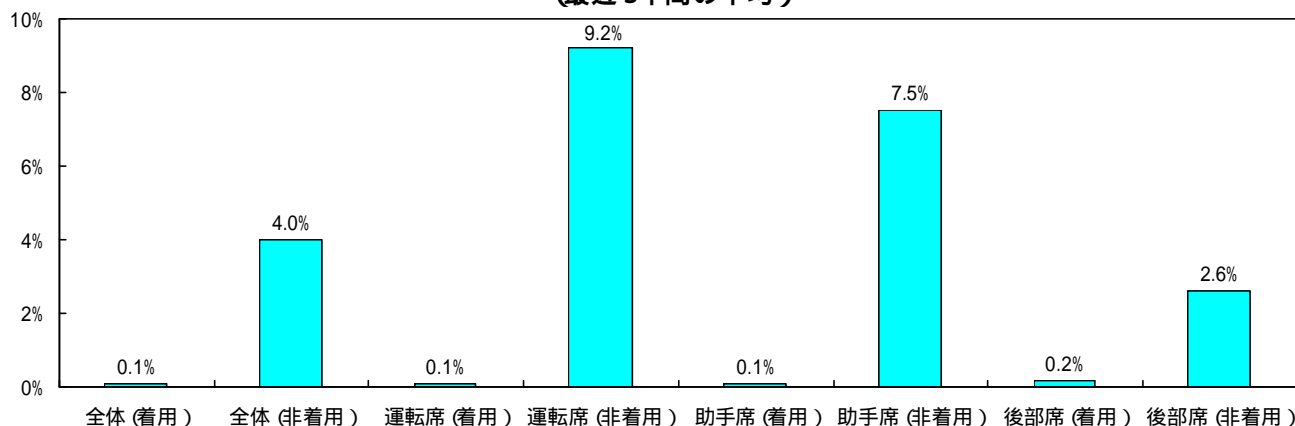
車外放出死傷者数の死傷者数に占める割合を乗車位置別シートベルト着用有無別で見ると、いずれの乗車位置も非着用の割合が高く、特に、運転席及び助手席の割合が高い。

車外放出死者数の死者数に占める割合の推移



区分	年	13年	14年	15年	16年	17年
死者数		389	338	351	329	285
車外放出死者数		74	70	65	54	55
死者数に占める車外放出死者数の割合		19.0%	20.7%	18.5%	16.4%	19.3%

乗車位置別シートベルト着用有無別車外放出死傷者数の死傷者数に占める割合
(最近5年間の平均)



乗車位置別シートベルト着用有無別車外放出死傷者数の死傷者数に占める割合の推移

区分	年	13年			14年			15年			16年			17年		
		死傷者数	車外放出による死傷者数	割合	死傷者数	車外放出による死傷者数	割合	死傷者数	車外放出による死傷者数	割合	死傷者数	車外放出による死傷者数	割合	死傷者数	車外放出による死傷者数	割合
運転席	着用	13,695	8	0.1%	13,154	13	0.1%	13,235	9	0.1%	13,201	17	0.1%	13,045	9	0.1%
	非着用	601	59	9.8%	552	60	10.9%	458	42	9.2%	381	26	6.8%	364	29	8.0%
運転席小計		14,296	67	0.5%	13,706	73	0.5%	13,693	51	0.4%	13,582	43	0.3%	13,409	38	0.3%
助手席	着用	4,454	4	0.1%	4,244	7	0.2%	4,227	2	0.0%	3,928	3	0.1%	4,008	0	0.0%
	非着用	364	34	9.3%	350	30	8.6%	274	21	7.7%	250	11	4.4%	223	14	6.3%
助手席小計		4,818	38	0.8%	4,594	37	0.8%	4,501	23	0.5%	4,178	14	0.3%	4,231	14	0.3%
後部席	着用	1,189	5	0.4%	1,235	3	0.2%	1,165	0	0.0%	981	4	0.4%	1,148	1	0.1%
	非着用	2,611	65	2.5%	2,364	63	2.7%	2,466	74	3.0%	2,588	60	2.3%	2,326	55	2.4%
後部席小計		3,800	70	1.8%	3,599	66	1.8%	3,631	74	2.0%	3,569	64	1.8%	3,474	56	1.6%
合計	着用	19,338	17	0.1%	18,633	23	0.1%	18,627	11	0.1%	18,110	24	0.1%	18,201	10	0.1%
	非着用	3,576	158	4.4%	3,266	153	4.7%	3,198	137	4.3%	3,219	97	3.0%	2,913	98	3.4%
合計小計		22,914	175	0.8%	21,899	176	0.8%	21,825	148	0.7%	21,329	121	0.6%	21,114	108	0.5%

